MITSUBISHI

三菱電機 ビル 空調管理システム

統合ソフト ＴＧ－２０００　　　　（Ｖｅｒ１．００）
取扱説明書（管理編）

目　次

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき正しくお使いください。

この取扱説明書は大切に保管してください。

ＷＴ０３６２９Ｘ０１

2002年8月（Ver1.00）

本書ではMicrosoft® Windows®2000 Professional のことをWindows 2000、Windows® XP Professional のことをWindows XPと呼びます。
また、Microsoft® Excel 2000/XPのことをEXCEL2000/XPと呼びます。

登録商標

MSとMicrosoft とそのロゴマーク、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、商標です。

その他、本書に記載されている商品の名称は、各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

1．安全のために必ず守ること

●ご使用の前に、この「安全のために必ず守ること」を熟読の上正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●誤った取扱をしたときに生じる危険とその程度を次の表で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱をしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結びつくもの。
⚠注意	誤った取扱をしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

●お読みになった後は、取扱説明書（現地調整編）とともにお使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管しておいてください。また、お使いになる方が代わる場合は、必ず本書と取扱説明書（現地調整編）をお渡しください。

お知らせ：パソコン、周辺機器、空調機、集中コントローラ等に関しては、それぞれの据付説明書や取扱説明書の警告や注意を守ってください。

⚠警告

お客様自身で電気・配線工事をしない。
電気・配線工事等は販売店または専門業者にご依頼ください。お客様自身で工事され不備があると感電、火災等の原因になります。

お客様自身で移設はしない。
据付に不備があると感電、火災等の原因になります。お買上の販売店にご依頼ください。

改造・修理は絶対にしない。
改造したり、修理に不備があると感電、火災等の原因になります。また、修理はお買上の販売店にご相談ください。

パソコンや周辺機器についてはその据付説明書や取扱説明書を必ずお読みください。
誤った取扱いをするとパソコンや周辺機器の火災、故障等の原因になります。

パソコンにエラー表示が出て運転しなかったり、不具合が発生した場合は運転を停止する。
そのままにしておくと、火災や故障の原因になります。お買上の販売店にご連絡ください。

空調機側のコントローラについてはその据付説明書や取扱説明書を必ずお読みください。
誤った取扱いをすると空調機関連のコントローラの火災、故障等の原因になります。

⚠注意

別の用途に使用しない。
この製品は三菱電機ビル空調管理システム用です。他の空調機管理あるいは別の用途にはご使用にならないでください。誤動作の原因になります。

子供に注意してください。
点検・調整を行う場合は、危険がありますので子供を近づけないように注意ください。

他のアプリケーション・ソフトウェアと併用しない。
この製品を使用するパソコンは、TG 2000 専用として使用ください。他のアプリケーション・ソフトウェアと併用すると、誤動作の原因になります。

ユーザの皆様へのご注意（使用許諾契約）
本記載内容はお客様と三菱電機㈱との間の契約書です。このアプリケーション・ソフトウェアを使用した場合、下記の内容に同意し、使用しているものとみなさせて頂きます。
・三菱電機㈱または、そのサプライヤーはいかなる場合にもお客様に、付随的、派生的または特別の損害にに対する責任を、たとえ販売者がその種の損害が発生する可能性について通知を受けていたとしても負いません。第三者からのいかなる権利の主張に対する責任も負いません。

２　使用開始時の注意

本統合ソフトＴＧ－２０００は複数台の集中コントローラＧ50を接続して、空調機グループの運転監視／操作などを行うためのソフトウェアです。
本統合ソフトＴＧ－２０００の取扱説明書は、現地調整編と管理編（本書）の構成になっています。

－用語について－
・『マンマシン』　：統合ソフトＴＧ－２０００のパソコンを指します。
（マンマシンインターフェースの略称）

統合ソフトＴＧ－２０００を使用するに当たり、下記の注意事項、および、**１３章の「システム運用上の注意」**をよくお読みになってからご使用ください。

(1) 設置状況の確認
パソコン、周辺機器等の配線、接続、初期設定等を確認してください。また、各機器の据え付け説明書や取扱説明書にしたがって、設置されているかを確認してください。

(2) 現地調整の確認
使用開始前に、別冊取扱説明書「現地調整編」に記載の初期設定と試運転が完了していることを確認してください。
（販社、代理店の方へ…システム情報のデータベースをバックアップしていることを確認ください。）

(3) 電源の処理
据付調整が終わった後、システム構成機器や空調機の電源は故障やサービス時以外切らないでください。システム構成機器や空調機の電源を切ると異常を表示することがあります。この場合は電源を入れれば自動的に正常に復帰します。

(4) 画面の処理
操作をしないときには、画面の焼き付け防止のためにスクリーンセーバーが起動します。スクリーンセーバー起動中にマウスまたはキーボードを触ると、画面が元の状態に戻ります。
（スクリーンセーバーの機能に関しては、4.４章を参照ください。）

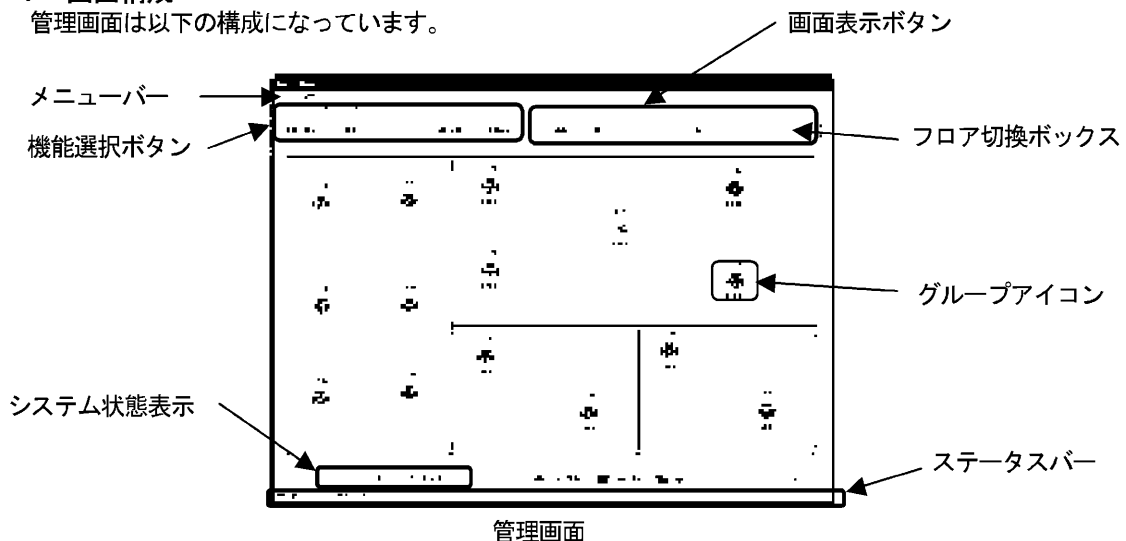
(5) プリンタの確認
プリンタと接続している場合は、プリンタの電源は入れたままにしてください。プリンタに用紙が入っていることを確認してください。

(6) Ｇ50のオプション機能
集中コントローラＧ50のオプション機能として、「年間／週間スケジュール」「電力按分課金」があります。本統合ソフトTG2000にて、スケジュール機能を使用するには「年間／週間スケジュール」のライセンスを、電力按分課金（電力量手入力）である空調料金と運転時間を使用するには「電力按分課金」のライセンスを各集中コントローラＧ50に登録する必要があります。
使用する機能に応じたライセンスが集中コントローラＧ50に登録されていることを確認してください。

３．各部の名称と機能

３．１　画面構成

管理画面は以下の構成になっています。

管理画面

グループアイコン	空調機・ロスナイの状態を表示したり、運転/ 停止等を操作します。
機能選択ボタン	各機能を選択するボタンが配置されています。
画面表示ボタン	各機能の表示単位を変更するボタンが配置されています。
フロア切換ボックス	フロアの切換を行ないます。
ステータスバー	操作方法のメッセージ、現在日付時刻を表示します。
システム状態表示	G 50、その他ユニットの状態（正常、異常）を表示します。

３．２　操作方法

マウスの操作方法

以下の操作方法はポインティング装置として“マウス”を使用することを前提に説明をしています。
マウス以外をポインティング装置としている場合は、その装置の説明書をご覧ください。画面上の操作方法は同様です。
また、文字・数値入力にキーボードの使用も可能です。

画面の矢印（マウスポインタ）を見ながら、マウスを動かします。
マウスボタンは左のボタンのみの使用になります。

以下に操作方法について示します。

クリック	ボタンを１回押すことをクリックと言います。 この操作はアイコンや機能の選択のときに使用します。
ダブルクリック	ボタンを連続してすばやく２回押すことをダブルクリックと言います。
ドラッグ	アイコンの上にマウスポインタをもっていき、左ボタンを押したままにするとものを掴んだ状態になります。そのままマウスを動かすと、アイコンがひきずられる様に動きます。この操作をドラッグと言います。左ボタン離すことで動かした位置に移動ができます。
キーボード	主にパスワードの入力、文字入力、数値入力の際に使用します。

３．３　機能一覧

本統合ソフトＴＧ－２０００は、大きく分けると２つの機能を持っています。

１）空調機（換気ユニット含む）の運転状態を監視したり、空調機を操作・設定する機能

２）本システムの初期設定および保守を行う機能

ここでは、主に１）の機能について説明します。
１）の機能は、下記のような項目から構成されています。この機能を表示する画面を“管理画面”と呼びます。

名称	機能	参照章
空調機の運転／停止	グループ単位、フロア単位、ブロック単位、全空調機を対象に運転／停止ができます。また、運転状態のモニタができます。	6.1　6.2
空調機の制御	グループ単位、フロア単位、ブロック単位、全空調機を対象に運転切換（暖房／送風／冷房／ドライなど）、室温調節などができます。	6.3
優先指示	グループ単位、フロア単位、ブロック単位、全空調機を対象に手元リモコンからの操作の許可／禁止ができます。	6.3
履歴	グループ単位、フロア単位、ブロック単位、全館（全空調機）を対象に異常・操作の履歴が参照できます。（操作履歴は全館を対象にしたときのみ参照できます。）	8.1
運転時間	グループごとに空調機の運転積算時間が参照できます。	8.2
スケジュール設定	グループごとに空調機のスケジュール運転ができます。	7
空調料金	ブロックごとに空調料金比率の結果を表示できます。	9

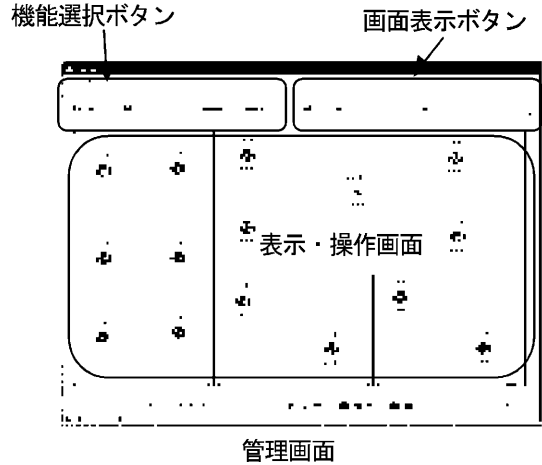
※お客様によって、使用できない機能があります。

以下の項目はシステム構成に変更があった場合に必要な内容で、本書では記載していません。
変更操作にはシステム設定についての知識が必要です。詳細の内容と操作方法については、別冊取扱説明書「現地調整編」をご参照ください。

名称	機能
Ｇ－５０接続設定	集中コントローラＧ50の台数やＧ50に設定しているＩＰアドレスを登録します。
システム構成設定	接続機器、冷媒系接続、グループ設定、換気連動設定などを設定します。
監視表示設定	ユニットの形名、フロア数、平面図、グループアイコンの配置、操作ブロックなどを設定します。
課金システム設定	空調料金の電力按分課金のための各種設定をします。
課金データの保守	過去の課金データを参照できます。
運転量データモニタ	Ｇ50にバックアップしている運転データをモニタします。

４．画面の基本操作

機能選択ボタン（上部左側）で機能を選択し、画面表示表ボタン（上部右側）で操作対象を示・操作画面に表示しします。

管理画面

４．１　ボタンの選択方法

（1）機能を選択する

［操作方法］

1）機能選択ボタンを選択します

機能選択ボタンから表示／操作する機能のボタンをクリックして選択します。

（2）操作する対象を選択する

［操作方法］

1）画面表示ボタンを選択します

表示したい表示画面のボタンをクリックして選択します。

お知らせ
・基本操作詳細は本取扱説明書の「６．通常操作」を参照ください。

４．２　操作内容と機能選択ボタン、画面表示ボタン

機能選択ボタンと対応する画面表示ボタンの一覧表です。
各操作対象で操作できるものには○印を、操作できないものには－印で表示しています。

操作内容	機能選択ボタン	画面表示ボタン（表示単位）				
		全館	ﾌﾞﾛｯｸ	フロア		ｼｽﾃﾑ機器※１
				ｸﾞﾙｰﾌﾟ	ﾌﾛｱ	
運転／停止の切り替え	監視／操作	○	○	○	○	－
運転状態（運転/停止/異常）の確認	監視／操作	○	○	○	○	○※２
運転ﾓｰﾄﾞや設定温度などの詳細設定	監視／操作	○	○	○	○	－
手元リモコンでの操作禁止の設定	監視／操作	○	○	○	○	－
年間・週間・当日スケジュールの設定	監視／操作	○	○	○	○	－
異常履歴・操作履歴の確認	履歴	○	○	○	○	○
運転積算時間の確認	運転時間	－	－	○	－	－
フィルタサインのリセット	ﾌｨﾙﾀｰｻｲﾝ	－	－	○	－	－
空調料金（料金比率）の確認	空調料金	－	○※３	－	－	－

※１：システム機器には、G50，システムコントローラ（システムリモコンなど）、手元リモコン、K伝送コンバータ、ロスナイ等が含まれます。
※２：正常／異常のみ表示されます。
※３：空調料金を選択すると、表示単位ボタンを選択しなくても表示します。ブロック単位で表示できます。

４．３　画面表示ボタンの操作方法

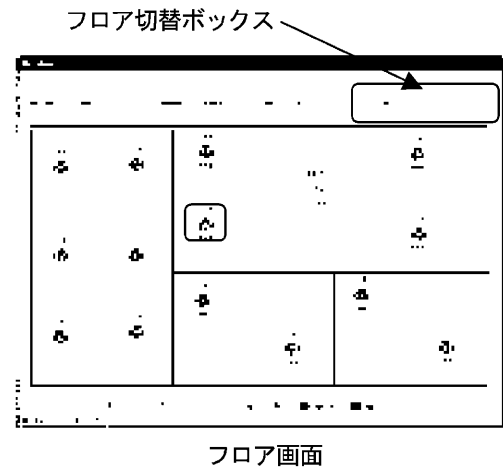
フロア画面

（1）グループの選択

［操作方法］

1）フロア切替ボックスから対象グループのあるフロアを選択します

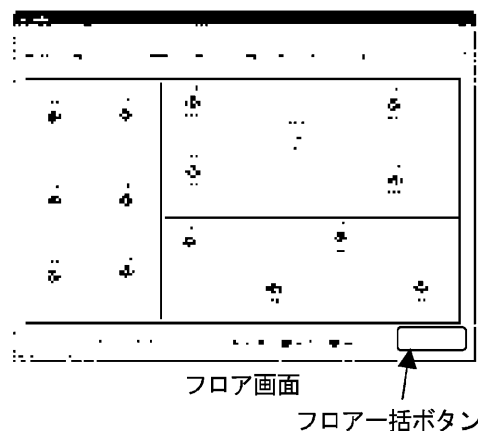
表示・操作画面にフロアが表示されます。

2）表示されたフロア内の対象グループアイコンをクリックします

（２）フロアの選択

［操作方法］

１）フロア切替ボックスから対象フロアを選択します
　表示・操作画面に対象フロアが表示されます。

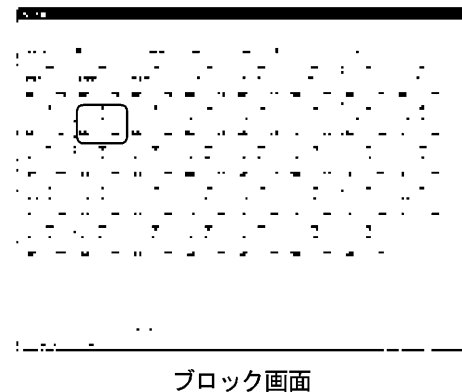
２）右下［フロア一括］ボタンをクリックします

フロア画面
フロア一括ボタン

（３）ブロックの選択

［操作方法］

１）画面表示ボタンから［ブロック］ボタンを選択します
　表示・操作画面に全ブロックが表示されます。

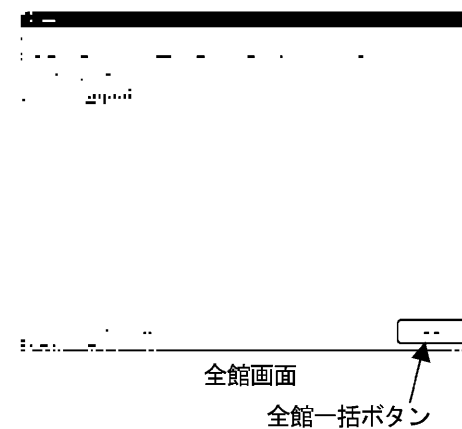
２）表示・操作画面から対象ブロックをクリックします

ブロック画面

（４）全館の選択

［操作方法］

１）画面表示ボタンから［全館］ボタンを選択します
　表示・操作画面に全フロアが表示されます。

２）［全館一括］ボタンをクリックします

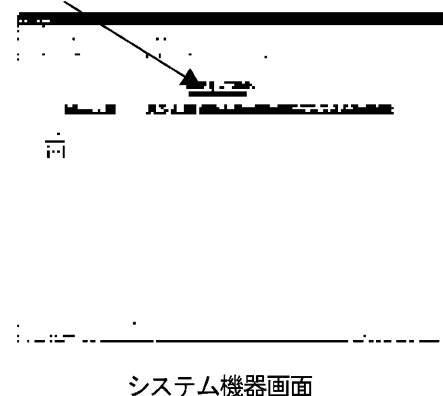
全館画面
全館一括ボタン

（５）システム機器・Ｇ－５０の選択

［操作方法］

１）画面表示ボタンから［システム機器］を選択します
　表示・操作画面にＧ50、ＯＣ等が表示されます。

２）選択ボックスで表示対象Ｇ50を選択します
　Ｇ50選択ボックスで表示・操作画面に表示するＧ50を選択します。
　選択したシステム機器が表示されます。

３）表示・操作画面から対象のシステム機器をクリックします

Ｇ50選択ボックス
システム機器画面

お知らせ
・システム機器画面には、室内ユニット以外の機器を表示します。

４．４　スクリーンセーバーの表示

マウスやキーボードをしばらく（１０分間）放置すると、スクリーンセーバーが動作します（パソコン画面の焼き付け防止のため）。スクリーンセーバーでは、以下の文字が流れて表示します。

メッセージ内容	ケースの内容
ＴＧ－２０００	正常動作時
システム異常発生中	G50 との間に通信異常が発生している場合
ユニット異常発生中	空調機器に異常が発生している場合

お願い

・スクリーンセーバーの設定を変更しないでください（伝言板に、自動的に設定されます）。伝言板以外に設定すると、メッセージ内容をスクリーンセーバーに表示することができません。

５．ご使用前の初期設定

お知らせ
・ご使用開始時に設定あるいは確認する項目を本章に記載しています。
・集中コントローラ G 50 のオプション機能である「年間／週間スケジュール」「電力按分課金」機能を本統合ソフト TG 2000 にて使用する場合に５．１章または５．２章をご覧ください。

５．１　スケジュールの設定

スケジュールの設定方法については、「７．スケジュール設定」を参照ください。

５．２　空調料金の設定

通常画面の機能選択の［空調料金］ボタンをクリックすると、空調料金表示画面が表示されます。この画面から空調料金の初期設定を行ないます。

お知らせ
・本統合ソフト TG 2000 の初期設定（システム設定）のユーザー設定にて、課金機能なしを設定した場合、「空調料金」は選択できません（表示されません）。
・初期画面の「課金システム設定」にて既に設定されている項目は設定内容をご確認ください。
・集中コントローラ G 50 に電力按分課金のライセンス登録が必要です。

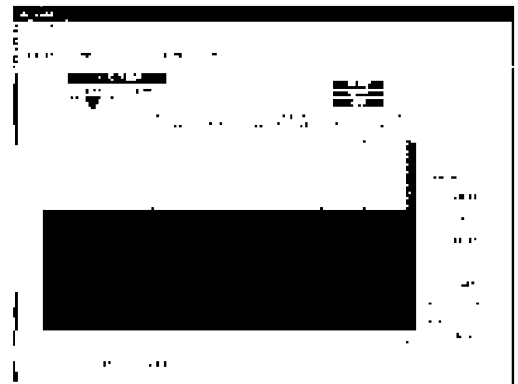
５．２．１　料金設定

料金設定画面を起動する

［操作方法］

1）「料金設定」ボタンを選択します

空調料金画面の「料金設定」ボタンをクリックしてください。料金設定の画面が表示されます。

お知らせ
・現地調整編の課金システム設定で諸項目を正しく設定する必要があります。設定していない場合、正常に電力按分課金計算できません。
・時間内／時間外の設定時間を変更すると、変更時点以降その設定時間が有効になります。
・運用中に時間内／外設定のあり／なしを変更すると、電力按分料金計算に**大きな影響**があります。

空調料金（料金比率）画面

電気使用料金単価を設定する

電気使用料金単価を設定します。料金体系は単一、昼間／夜間別、週末料金別、季節料金別等を選択できます。

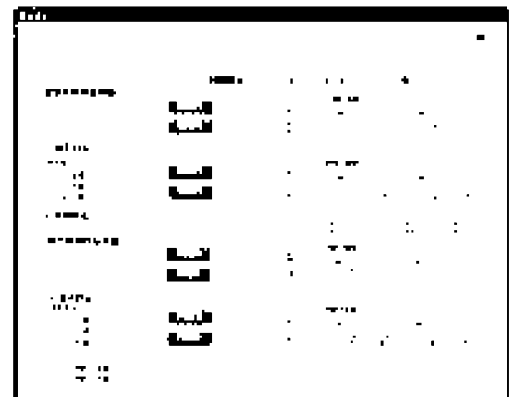
［操作方法］

1）使用する料金体系を選択します

使用したい料金体系のオプションボタンをクリックして設定します。

2）料金単価、適用日時あるいは、適用曜日を選択します

料金単価（円／kWh）、適用時間、適用月日、あるいは適用曜日を設定する料金体系に応じて設定します。

一部の入力にはキーボードから直接入力もできます。

料金設定

お知らせ
・時間内（昼間）は日をまたいで設定できません。
・時間内（昼間）は日に１回まで設定できます。

料金設定を終了する

［操作方法］

１）設定を終了すると、［ＯＫ］ボタンを選択します

料金設定が終了しましたら、「ＯＫ」ボタンをクリックします。

ＯＫ　　　：本設定を有効にし、空調料金画面に戻ります。
キャンセル ：本設定を無効にし、空調料金画面に戻ります。

お知らせ
・設定必須項目に未設定箇所が存在する場合、注意表示します。再度設定し直してください。

５．２．２　精算日設定

精算日を設定する

空調料金は１ヶ月毎に精算を実施しますので、その精算日を設定します。

［操作方法］

１）［精算日指定］ボタンを選択します

空調画面の右中段にある［精算日指定］ボタンをクリックすると精算日設定画面が表示されます。

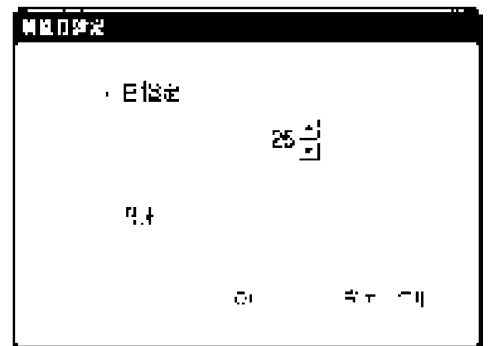
２）精算日を設定します

月末を指定する場合は、［月末］を選択して下さい。
月末以外を指定する場合は、［日指定］を選択して、「▲／▼」ボタンで日付を設定してください。
（キーボードから直接数値入力することもできます。）

精算日設定画面

３）設定を終了すると、［ＯＫ］ボタンを選択します

精算日を設定完了したら、「ＯＫ」をクリックします。

OK　　　　：本設定を有効にし、精算日設定を完了します。
キャンセル ：本設定を無効にし、精算日設定を完了します。

お知らせ
・精算日の設定は２９日、３０日、３１日を指定することはできません（ただし、月末は設定できます）。
・精算後に自動印刷または自動ファイル出力をすることもできます（「現地調整編」を参照ください）。

６．通常操作

６．１　監視／操作

通常の操作は管理画面で行います。

機能選択ボタン（上部左側）で［監視／操作］ボタンを選択し、画面表示ボタン（上部右側）で表示画面を選択して、管理画面を表示します。「運転時間」と「空調料金」は課金機能ありが選択されている時に表示されます。

機能選択	画面表示
・監視／操作 ・履歴 ・フィルターサイン ・運転時間 ・空調料金	・システム機器 ・全館 ・ブロック ・フロア

（１）機能を選択する

機能選択ボタンから「監視／操作」ボタンをクリックすると、
監視／操作画面が表示されます。

（２）操作する対象を選択する

［操作方法］

グループが対象の場合

画面表示ボタンから［フロア］ボタンをクリックします。
フロア切替ボックスから対象グループが配置されているフロアを選択します。
監視／操作画面に該当フロアが表示されます。
表示されたフロア内の対象グループアイコンをクリックします。

フロア全体が対象の場合

画面表示ボタンから［フロア］ボタンをクリックします。
フロア切替ボックスから対象フロアを選択します。
監視／操作画面に対象フロアが表示されます。
画面右下の［フロア一括］ボタンをクリックします。

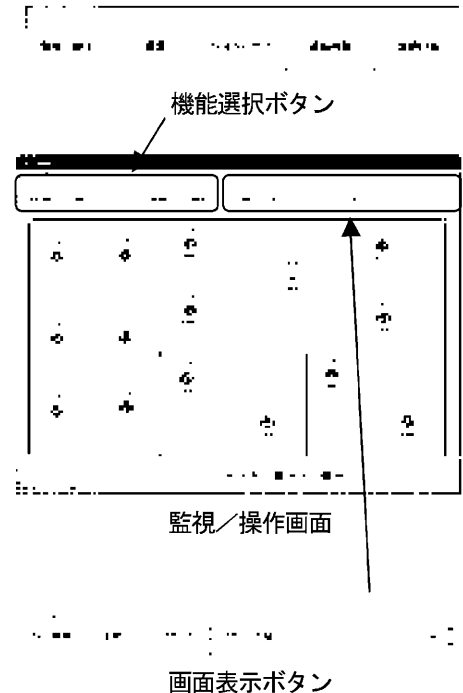
ブロックが対象の場合

画面表示ボタンから［ブロック］ボタンをクリックします。
監視／操作画面に全ブロックが表示されます。
監視／操作画面から対象ブロックをクリックします。

全館対象の場合

画面表示ボタンから［全館］ボタンをクリックします。
監視／操作画面に全フロアが表示されます。
画面右下の［全館一括］ボタンをクリックします。

システム機器・Ｇ50 が対象の場合

画面表示ボタンから［システム機器］ボタンをクリックします。
監視／操作画面にＧ50、OC等が表示されます。
Ｇ50 選択ボックスから対象のシステム機器が接続されたＧ50 を選択します。
監視／操作画面に選択したＧ50 のシステム機器が表示されます。
監視／操作画面から対象のシステム機器をクリックします。

６．２　運転・停止操作

空調機の運転・停止操作ができます。

また、ブロック、フロア一括、全館等の複数グループの一括操作も可能です。

　操作可能対象：グループ、フロア一括、ブロック、全館

［操作方法］

１）監視／操作を選択します

機能選択ボタンから「監視／操作」ボタンをクリックすると、監視／操作画面が表示されます。

２）運転・停止する対象を選択します

<u>運転・停止する対象</u>をクリックするとメニューを表示します。

> お知らせ
> ・____線部については前章「６．１（２）操作する対象を選択する」を参照ください。

3）運転／停止を選択します
表示されるメニューには現在運転中ならば「停止」、停止中ならば「運転」が表示されます。
メニューから「運転」または「停止」をクリックすると運転状態が切換わります。

お知らせ
・操作対象が複数グループの場合、一台でも運転グループがあるとメニューに「停止」が表示されます。

６．３　運転状態モニタ

空調機の運転状態を監視できます。
操作可能対象：フロア、ブロック、全館、システム機器

（1）運転状態を表示する

[操作方法]
1）監視／操作を選択します
機能選択ボタンから「監視／操作」ボタンをクリックすると、「監視／操作」画面が表示されます。
2）運転状態を表示する対象を選択します
運転状態を表示する対象をクリックすると、現在の運転状態が表示されます。

お知らせ
・＿＿線部については「６．１（２）操作する対象を選択する」を参照ください。

（2）運転状態の説明

フロア表示画面
グループアイコンの説明

運転状態

[空調機グループ運転]

[空調機グループ停止]

[換気グループ運転]

[換気グループ停止]

[空調機／連動換気ﾕﾆｯﾄともに運転]

[空調機運転／連動換気ﾕﾆｯﾄ停止]

[空調機停止／連動換気ﾕﾆｯﾄ運転]

[空調機／連動換気ﾕﾆｯﾄともに停止]

異常状態

[空調機グループ異常]

[換気グループ異常]

[G 50 異常]

[室外機異常]

[室外補助ユニット異常]

[分コン異常]

[K伝送ｺﾝﾊﾞｰﾀ異常]

その他状態・表示

[手元リモコン操作禁止]

[スケジュール設定あり]

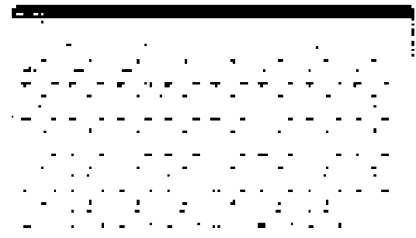
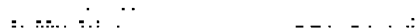
[フィルターサイン]

暖房
[運転禁止状態]

冷房
[運転モード表示]

三菱電機株式会社
[グループ名表示]

お知らせ
・グループアイコンの上ににマウスカーソルを持っていくとグループのロング名が表示されます。
・停止時、運転モードは薄い色の表示になります。(グレー文字表示)。
・運転禁止状態の時、室内機の運転状態は停止したままになります。
　運転禁止状態を解除する場合は運転モードを変更してください。
　また、一部機種は本運転禁止状態の表示ができません。
・フィルターサイン表示は「フィルターサイン」画面でのみ表示されます。

ブロック画面
フロア名・・・・・対象ブロックが設置されているフロア名を表示
ブロック名・・・・対象ブロックの名称を表示
運転状態・・・・・対象ブロックの運転状態表示
運転モード・・・・対象ブロックの運転モード表示

お知らせ
・ブロックは「連動換気ユニットのみ運転」の表示に対応していません。

ブロック画面

全館画面
フロア枠内に1グループ単位で表示します。
● (緑)・・・・・・・運転中
● (濃いグレー)・・・停止中
● (青)・・・・・・・連動換気ユニットのみ運転
× (黄)・・・・・・・異常中

全館画面

システム機器画面
表示されているユニットに異常があるとアイコンに×が表示されます。

6．4　操作詳細
空調機の運転モードの切換・温度調節・その他機能を監視／操作できます。
監視／操作可能対象：フロア、ブロック、全館

(1) リモコン設定画面を表示する
[操作方法]

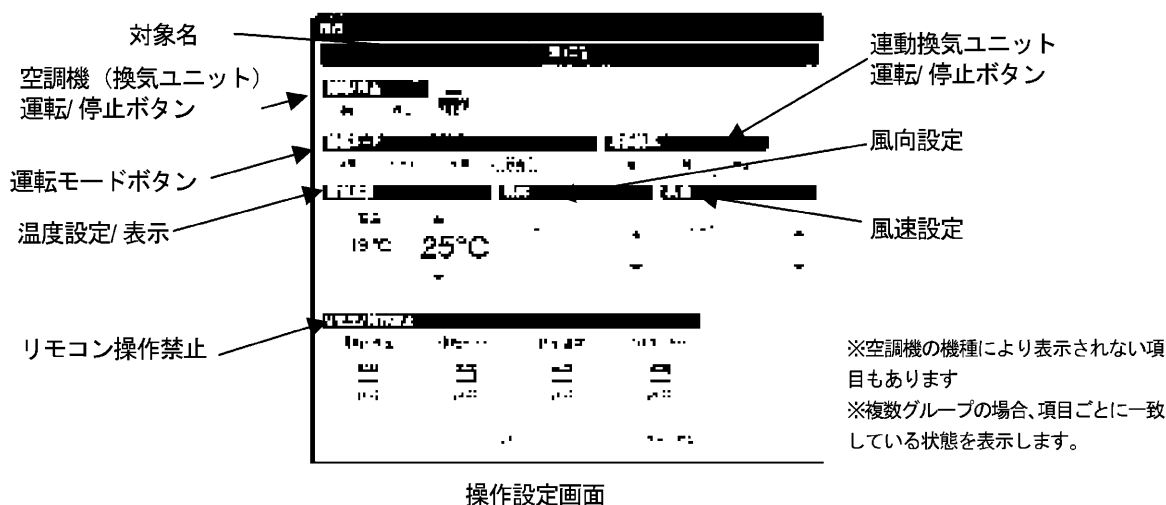
1)[監視／操作]ボタンを選択します
機能選択ボタンから[監視／操作]ボタンをクリックすると、「監視／操作」画面が表示されます。

2)操作設定画面を表示したい対象を選択します
操作設定画面を表示したい対象をクリックするとメニューが表示されます。

お知らせ
・＿＿については「6．1(2)操作する対象を選択する」を参照ください。

3)操作設定を選択します
メニューから[操作]をクリックすると操作設定画面が表示されます。

（２）操作設定画面の説明

操作設定画面

対象名

・グループ　：グループ名（ロング）が表示されます。
・フロアー括　：フロア名が表示されます。
・ブロック　：ブロック名が表示されます。
・全館　：全館が表示されます。

空調機（換気ユニット）運転/ 停止ボタン　：現在の運転/ 停止状態が表示されます。（ボタンが押された状態が現在の状態です。）

運転モードボタン　：現在の運転モードが表示されます。（ボタンが押された状態が現在の状態です。）

連動換気ユニット運転/ 停止ボタン　：現在の運転/ 停止状態が表示されます。（ボタンが押された状態が現在の状態です。）
※連動換気ユニットが接続されていないグループでは表示しません。

設定温度/ 表示

・設定温度　：設定温度が表示されます。
・室内温度　：現在の室内温度が表示されます。

風向設定　：現在の風向きが表示されます。

風速設定　：現在の風速が表示されます。

リモコン操作禁止　：手元リモコンの操作禁止設定状態が表示されます。
※マンマシンおよびＧ－５０からの操作禁止設定のみ、表示に反映されます。

（３）操作設定画面の操作

運転/ 停止の変更

［運転］ボタンまたは［停止］ボタンをクリックします。
両方とも選択されてない時は現状維持となります。

運転モードの変更

空調機の場合［冷房］、［ドライ］、［送風］、［暖房］または［自動］ボタンをクリックします。
換気機器の場合［普通換気］、［熱交換気］または［自動］ボタンをクリックします。
全て選択されてない時は現状維持となります。
※接続されている機種によって設定できないモードがあります。

連動換気ユニットの運転/ 停止の変更

［強］、［弱］または［停止］ボタンをクリックします。
全て選択されていない時は現状維持となります。

設定温度の変更

「▲／▼」ボタンをクリックして、設定温度を変更します。
※機種や運転モードにより設定できる温度範囲は異なります。換気グループにこの機能はありません。

風向の変更

「▲／▼」ボタンをクリックして風向を変更します。

※スイングや風向切換機能の有無は機種により異なります。

※換気グループにこの機能はありません。

風速の変更

「▲／▼」ボタンをクリックして風速を変更します。

換気グループでは弱→強→現状維持→弱･･･と切換わります。

※風速切換段数は機種により、２段階、３段階、４段階となります。

リモコン操作禁止の変更

［運転/ 停止］、［運転モード］、［設定温度］、［フィルターリセット］の各ボタンをクリックする度に設定が許可→禁止→現状維持（アイコン表示なし）→許可･･･と切換わります。

「運転/ 停止」を禁止にすると手元リモコンからの運転/ 停止操作ができなくなります。

「運転モード」を禁止にすると手元リモコンからのモード変更ができなくなります。

「設定温度」を禁止にすると手元リモコンからの温度変更ができなくなります。

「フィルターリセット」を禁止にすると手元リモコンからのフィルターリセットができなくなります。

現状維持（アイコン表示なし）に設定すると、禁止／許可状態を現状のままとして、変更しません。

※換気グループでは「運転/ 停止」と「フィルターリセット」のみ許可／禁止を設定できます。

※Ｋ制御機種は「フィルタリセット」の項目はありません。

※Ｋ制御機種は全項目許可、全項目禁止のみ設定できます。

お知らせ

・フロアー括、全館一括、ブロックの操作設定画面において、状態が異なるグループが存在すると次のような表示になります。

運転／停止	：運転、停止ともボタンが押されていない状態（現状維持）
運転モード	：全ての運転モードボタンが押されていない状態（現状維持）
設定温度	：－－（現状維持）
リモコン禁止項目	：表示なし（現状維持）

・各項目の設定変更内容は、機種により異なります。グループの機能は「表示」メニューの「システム構成設定表示」で確認できます。（操作方法詳細は、本取扱説明書「１０．システム表示」を参照ください。）

・風向きの下向きについては、室内機の制御により自動的に下向き以外になるケースがあります。

・手元リモコンを操作禁止にすると、手元リモコンに「－集中管理中－」が表示されます。

［ＯＫ］／［キャンセル］ボタン

OK　：本設定を有効にし、監視／操作画面に戻ります。

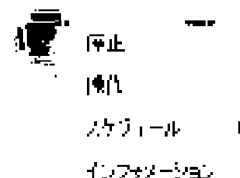
キャンセル　：本設定を無効にし、監視／操作画面に戻ります。

（４）その他の機能

監視／操作画面のフロア表示画面にて、下記項目のグループ情報を表示できます。

・ロングネーム表示

・操作ブロック名表示

・課金ブロック名表示

［操作方法］

１）監視／操作を選択します

機能選択ボタンから［監視／操作］をクリックすると、監視／操作画面を表示します。

２）フロアボタンを選択します

画面表示ボタンから［フロア］ボタンをクリックすると、フロア表示画面が表示します。

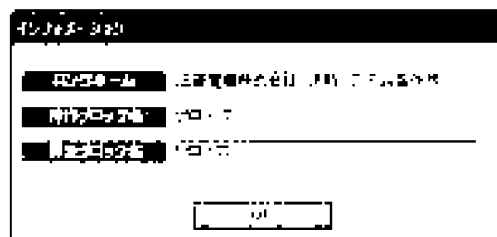
３）グループを選択します

インフォメーションを表示したいグループのグループアイコンをクリックすると、メニューを表示します。

４）インフォメーションを選択します

メニューから［インフォーメーション］をクリックすると、インフォメーションを表示します。

５）［ＯＫ］ボタンを選択します

インフォメーションの内容を確認したら、［ＯＫ］ボタンでインフォメーション表示を閉じます。

７．スケジュール設定

スケジュール設定では指定した時間に動作するように運転/停止、運転モード、設定温度、リモコン操作の禁止/許可を設定できます。

スケジュールの種類は当日、週間と年間のスケジュールがあり、週間では曜日毎に、年間では最大５０日のスケジュールを設定できます。尚、設定の優先順位は当日、年間、週間の順で設定項目が優先されます。
設定できる最小単位はグループです。
操作可能対象：グループ、フロア一括、ブロック（操作用)、全館一括

> お知らせ
> ・本スケジュール機能を使用する場合は、集中コントローラ G50 に『年間／週間スケジュール』のライセンス登録が必要です。集中コントローラ G50 にライセンス登録していない場合は、スケジュール動作は行いません。

７．１　当日スケジュールの設定

通常画面からスケジュール設定画面への移動

［操作方法］

１）［監視／操作］機能を選択します
機能選択ボタンから［監視／操作］ボタンをクリックすると、監視／操作画面が表示します。

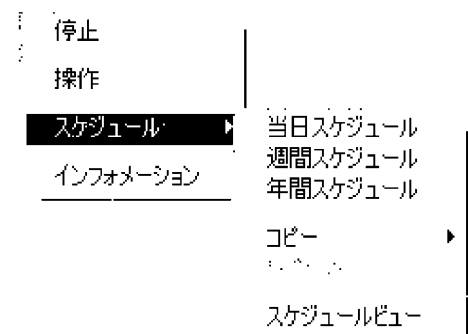
２）スケジュールを設定する対象を選択します
スケジュールを設定する対象をクリックして下さい。
表示されたメニューの「スケジュール」にマウスカーソルを合わせると、スケジュールメニューが表示されます。

> お知らせ
> ・＿＿線部については「６．１（２）操作する対象を選択する」を参照ください。

３）当日スケジュールを選択します
メニューから当日スケジュールをクリックすると、当日スケジュール設定画面が表示されます。画面には統合ソフト TG2000 に保存されている情報が表示されます。

以後の操作は当日スケジュール設定画面から行ないます。

停止
操作
スケジュール
インフォメーション

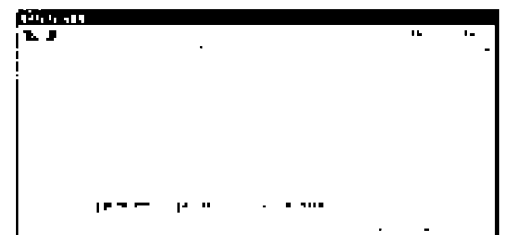
当日スケジュール
週間スケジュール
年間スケジュール
コピー
スケジュールビュー

（１）スケジュールの設定

> 注意
> ･スケジュール設定を行う前に、［モニタ更新］ボタンで G50 に設定されているスケジュールをモニタ表示してください。モニタ更新することによりスケジュール設定間違いを防ぐことができます。

［操作方法］

１）日付ボタンを選択します
日付（年月日）ボタンをクリックするとメニューが表示されます。

２）設定を選択します
メニューの［設定］をクリックしますと、スケジュール詳細設定画面が表示されます。

３）時刻を設定します
「▲／▼」ボタンで時間を設定します。また、直接数値を入力することも可能です。

> お知らせ
> ･同時刻に複数のスケジュールを設定することはできません。

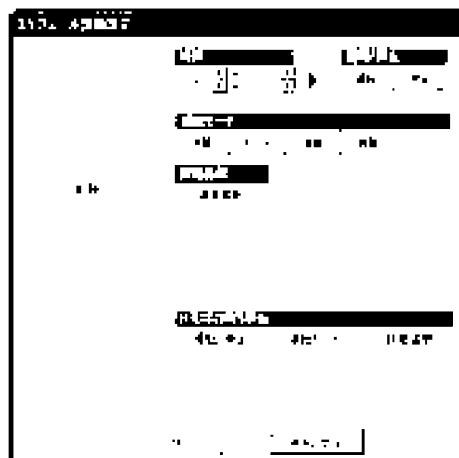
４）［運転］または［停止］ボタンを選択します

［運転］または［停止］ボタンをクリックします。現状維持は［運転］と［停止］ボタンともに選択しないことで設定できます。

５）操作禁止・運転モード・設定温度等を設定します

操作禁止項目は手元リモコンからの操作の許可／禁止を設定できます。運転/停止・運転モード・設定温度の各項目において禁止/許可の設定ができます。

設定を変更しない場合は現状維持（アイコン表示なし）に設定して下さい。

運転モードは各モードのボタンを選択してください。現状維持の場合はボタンを全て選択なしにしてください。

設定温度は［設定温度］ボタンをクリックすることで、温度を設定できるようになります。

▲／▼ボタンで温度を変更できます。現状維持の場合は再度［設定温度］ボタンをクリックして選択解除します。

設定されたスケジュールを削除する場合は［削除］ボタンをクリックします。

５）［ＯＫ］ボタンを選択します

設定終了後に［ＯＫ］ボタンをクリックします。

当日スケジュール設定画面に設定したスケジュールを表示します。

※［キャンセル］ボタンをクリックすると、設定内容が無効になります。

お知らせ

・動作設定は最大１２回まで設定することができます。

・２つ以上のグループを一括スケジュールモニタした場合、異なる設定があると設定欄が水色表示されます。

（２）スケジュールの変更

設定したスケジュールを変更する場合、本機能を使用します。

［操作方法］

１）メニューより当日スケジュールを選択します

当日スケジュール設定画面を表示します。

２）動作表示ボックスを選択します

変更したい動作表示ボックスをクリックします。

スケジュール詳細設定画面が表示されます。

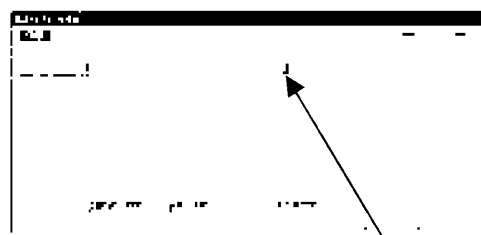
３）スケジュール内容を変更します

操作方法については前項「（１）スケジュールの設定」を参照ください。又、設定時間のみ変更する場合は、動作表示ボックスをドラッグすると変更できます。(10 分単位)

４）［ＯＫ］ボタンを選択します

設定終了後に［ＯＫ］ボタンをクリックします。

当日スケジュール設定画面に変更したスケジュールを表示します。

※［キャンセル］ボタンをクリックすると、設定内容が無効になります。

（３）スケジュールの解除

［操作方法］

１）日付ボタンを選択します

日付ボタンをクリックするとメニューが表示されます。

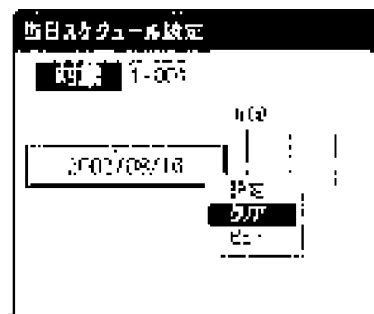
２）［クリア］を選択します

メニューの［クリア］をクリックします。

クリア確認画面を表示します。

３）［ＯＫ］ボタンを選択します

確認後に［ＯＫ］ボタンを押すと、削除されます。

※［キャンセル］ボタンをクリックすると、削除されません。

（4）スケジュール内容確認

［操作方法］

1）日付ボタンを選択します

日付ボタンをクリックするとメニューが表示されます。

2）ビューを選択します

メニューの［ビュー］をクリックします。

詳細表示画面を表示します。

詳細表示画面には「時刻」、「運転／停止」、「運転モード」、「設定温度」、「リモコン操作禁止」の各詳細内容を表示します。

お知らせ

・詳細表示画面の設定時刻をクリックしますと、スケジュール詳細設定画面が表示されます。この画面でスケジュールの変更も可能です。

・動作表示ボックスをクリックしても、同様に変更可能です。

3）［ＯＫ］ボタンを選択します

確認後または変更後に［OK］ボタンを押します。

※［キャンセル］ボタンをクリックすると、設定内容が無効になります。

当日スケジュール設定の終了

［送信］または［キャンセル］ボタンを選択します

当日スケジュール設定や変更が完了したら、［送信］ボタンをクリックします。

送信　　　：Ｇ50 にスケジュール送信して監視／操作画面に戻ります。

キャンセル ：スケジュールをＧ50 に送信せず、監視／操作画面に戻ります。

（監視／操作画面に戻ると設定したグループアイコンにスケジュールマークが表示されます。）

７．２　週間スケジュールの設定

通常画面からスケジュール設定画面への移動

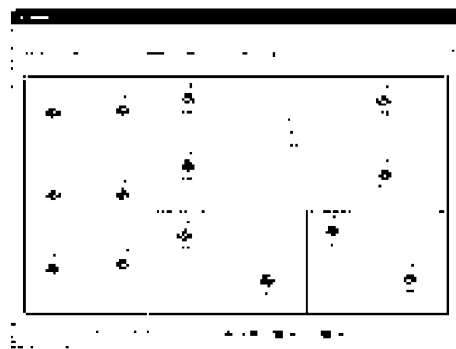
［操作方法］

1）［監視／操作］機能を選択します

機能選択ボタンから［操作／監視］ボタンをクリックすると、監視／操作画面が表示します。

2）スケジュールを設定する対象を選択します

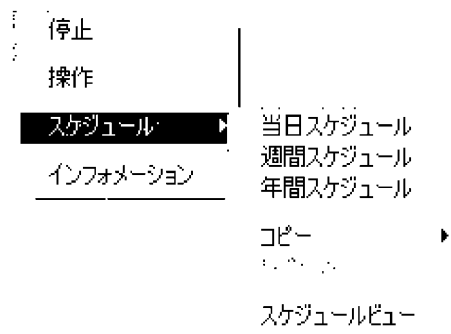
スケジュールを設定する対象をクリックして下さい。

表示されたメニューの「スケジュール」にマウスカーソルを合わせると、スケジュールメニューが表示されます。

お知らせ

・＿＿線部については「６．１（２）操作する対象を選択する」を参照ください。

3）週間スケジュールを選択します

メニューから週間スケジュールをクリックすると、週間スケジュール設定画面が表示されます。

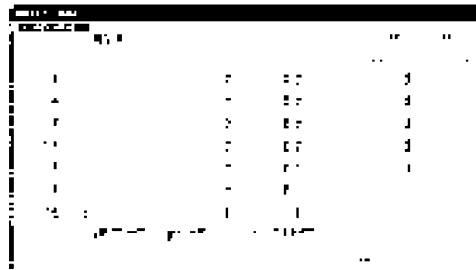
以後の操作は週間スケジュール設定画面から行ないます。

（1）スケジュールの設定

［操作方法］

1）パターンデータを選択します

パターンデータ選択ボックスの［G 50 データ］、［夏用マスタ］、［冬用マスタ］から選択してください。

［夏用マスタ］、［冬用マスタ］を選択しますと、設定されたスケジュールを統合ソフト TG 2000 に保存することができます。
夏、冬の季節でスケジュールを使い分ける場合に便利です。

注意
・パターンデータを「G 50 データ」に設定した時は、スケジュール設定を行う前に、［モニタ更新］ボタンで G 50 に設定されているスケジュール内容をモニタ表示してください。
モニタ更新することによりスケジュール設定間違いを防ぐことができます。

1）設定する曜日を選択します

設定する曜日のボタンをクリックするとメニューを表示します。

2）設定を選択します

メニューの［設定］をクリックします。
スケジュール詳細設定画面が表示されます。

3）時間を設定します

「▲／▼」ボタンで時間を設定します。直接数値を入力することも可能です。

お知らせ
・同時刻に複数のスケジュールを設定することはできません。

4）運転または停止を選択します

［運転］または［停止］ボタンをクリックします。現状維持は［運転］、［停止］ボタンともに選択しないことで設定できます。

5）操作禁止・運転モード・設定温度等を設定します

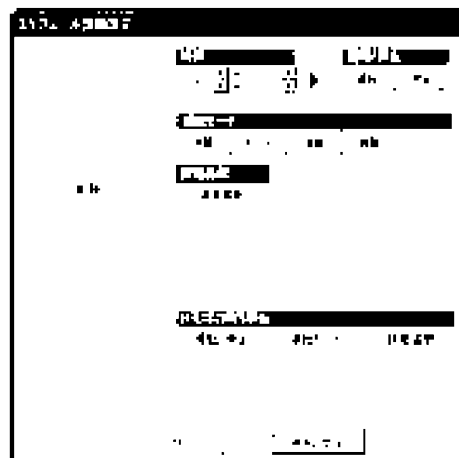
操作禁止項目は手元リモコンからの操作の許可／禁止を設定できます。運転/ 停止・運転モード・設定温度の各項目において禁止/ 許可の設定ができます。
設定を変更しない場合は現状維持（アイコン表示なし）に設定して下さい。

運転モードは各モードのボタンを選択してください。現状維持の場合はボタンを全て選択なしにしてください。

設定温度は［設定温度］ボタンをクリックすることで、温度設定が可能になります。
▲／▼ボタンで温度を変更できます。現状維持の場合は再度［設定温度］ボタンをクリックして、選択解除します。

設定されたスケジュールを削除する場合は［削除］ボタンをクリックします。

5）［ＯＫ］ボタンを選択します

設定終了後に［ＯＫ］ボタンをクリックすると、週間スケジュール設定画面に設定したスケジュールを表示します。

※［キャンセル］ボタンをクリックすると、設定内容が無効になります。

お知らせ
・動作設定は最大１２回まで設定することが可能です。
・２つ以上のグループを一括スケジュールモニタした場合、異なる設定があると設定欄が水色表示されます。

（2）スケジュールの変更

設定したスケジュールを変更する場合、本機能を使用します。

［操作方法］

1）メニューより週間スケジュールを選択します

週間スケジュール設定画面を表示します。

2）動作表示ボックスを選択します

変更したい動作表示ボックスをクリックします。

スケジュール詳細設定画面が表示されます。

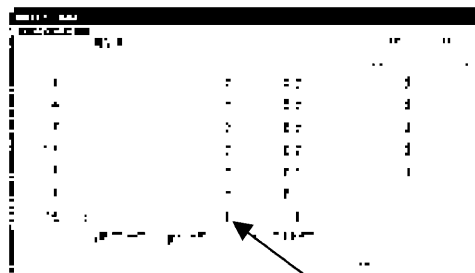
3）スケジュール内容を変更します

操作方法については7．２章の「（1）スケジュールの設定」を参照下さい。又、設定時間のみ変更する場合は、動作表示ボックスをドラッグすると変更できます。（10分単位）

4）［ＯＫ］ボタンを選択します

設定終了後に［OK］ボタンをクリックします。

週間スケジュール設定画面に変更したスケジュールを表示します。

※［キャンセル］ボタンをクリックすると、設定内容が無効になります。

（3）スケジュールの解除

［操作方法］

1）解除したい曜日を選択します

解除したい曜日のボタンをクリックするとメニューが表示されます。

2）［クリア］を選択します

メニューの［クリア］ボタンをクリックします。

クリア確認画面を表示します。

3）［ＯＫ］ボタンを選択します

確認後に［ＯＫ］ボタンをクリックすると、その曜日のスケジュールがクリアされます。

※［キャンセル］ボタンをクリックすると、クリアされません。

（4）スケジュールのコピー

本機能は指定した曜日のスケジュール設定を別の曜日にコピーする機能です。

［操作方法］

1）コピー元の曜日を選択します

コピー元の曜日のボタンをクリックするとメニューが表示されます。

2）［コピー］を選択します

メニューから［コピー］をクリックします。

3）コピー先の曜日を選択します

コピー先の曜日のボタンをクリックするとメニューが表示されます。

4）［貼り付け］を選択します

メニューから［貼り付け］をクリックするとコピー元の曜日のスケジュールを貼り付けます。

続けて別の曜日にも貼り付けできます。

（5）スケジュール内容確認

［操作方法］

1）曜日ボタンを選択します

曜日ボタンをクリックするとメニューが表示されます。

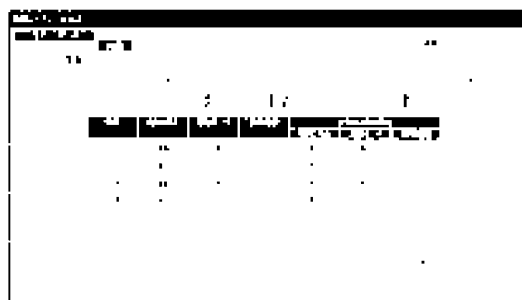
2）［ビュー］を選択します

メニューの［ビュー］をクリックすると、詳細表示画面を表示します。

詳細表示画面には「時刻」、「運転／停止」、「運転モード」、「温度設定」、「リモコン操作禁止」の各詳細内容を表示します。

お知らせ

・詳細表示画面の設定時刻をクリックしますと、スケジュール詳細設定画面が表示されます。この画面でスケジュールの変更も可能です。

・動作表示ボックスをクリックしても、同様に変更可能です。

3）［ＯＫ］ボタンを選択します
　確認後または変更後に［ＯＫ］ボタンをクリックします。変更内容を保存して週間スケジュール設定画面に戻ります。
　　※［キャンセル］ボタンを選択すると、設定内容が無効になります。

週間スケジュール設定の終了
［送信］または［キャンセル］ボタンを選択します
週間スケジュール設定や変更が完了したら、［送信］ボタンをクリックします。
　送信　　　：本設定を有効にし、G50 にスケジュール送信して監視／操作画面に戻ります。
　キャンセル：本設定を無効にし、監視／操作画面に戻ります。
（監視／操作画面に戻ると設定したグループアイコンにスケジュールマークが表示されます。）

７．３　年間スケジュールの設定

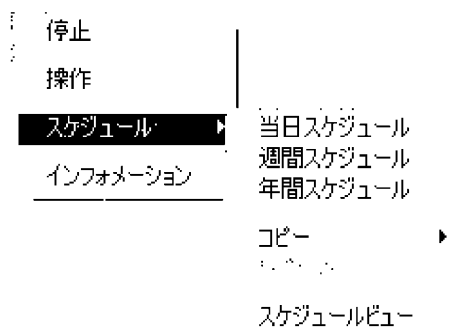
　年間スケジュールでは祝日や夏期休暇など，週間スケジュールに当てはまらない日のスケジュールを空調機グループごとに，24 ヶ月先（今月含む）までの範囲で 50 日間設定できます。
　年間スケジュールを設定するには，まず設定する対象を選択し，スケジュールパターン（パターン 1～５）のスケジュール内容を設定した後で，祝日や夏期休暇などの日にパターンを割り当てます。

通常画面からスケジュール設定画面への移動

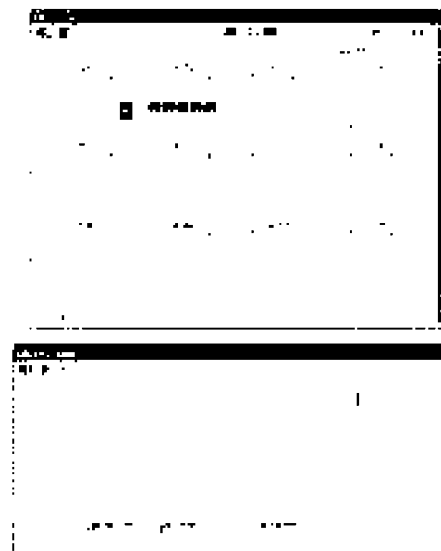
［操作方法］
1）［操作／監視］機能を選択します
　機能選択ボタンから［操作／監視］ボタンをクリックすると、監視／操作画面が表示します。
2）スケジュールを設定する対象を選択します
　スケジュールを設定する対象をクリックします。
表示されたメニューの「スケジュール」にマウスカーソルを合わせると、スケジュールメニューが表示されます。

お知らせ
・＿＿線部については「６．１（２）操作する対象を選択する」を参照ください。

3）年間スケジュールを選択します
　メニューから年間スケジュールをクリックすると、年間スケジュール設定画面が表示されます。

年間スケジュールでは当月から２４ヶ月先まで表示され、翌日以後のスケジュール設定が可能です。
　カレンダーの日付枠の色
　　青色　：対象パターンのスケジュール設定あり
　　濃灰色：未対象パターンのスケジュール設定あり
　　薄灰色：スケジュール設定なし
　　水色　：複数グループに異なったスケジュール設定あり

以後の操作は年間スケジュール設定画面から行ないます。

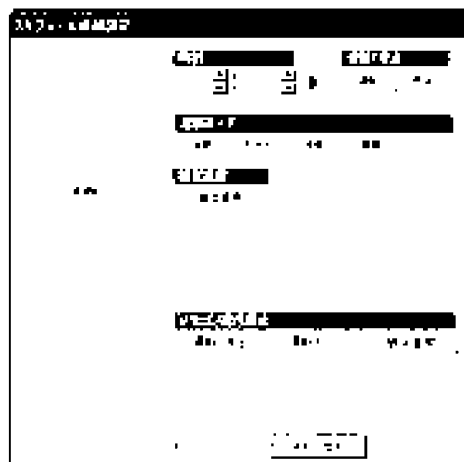
（1）パターンの設定

［操作方法］
1）［パターン設定/変更］ボタンを選択します
　年間スケジュール設定画面より［パターン設定/変更］ボタンをクリックすると年間パターン設定画面が表示されます。
2）パターンボタンを選択します
　パターンボタンをクリックしますとメニューが表示されます。
3）設定を選択します
　メニューの［設定］を選択します。
　スケジュール詳細設定画面が表示されます。
4）時間を設定します
　「▲／▼」ボタンで時間を設定します。直接数値を入力することもできます。

お知らせ
・同時刻に複数のスケジュールを設定することはできません。

5）運転または停止を選択します
運転または停止ボタンをクリックします。現状維持は［運転］、［停止］ボタンともに選択しないことで設定できます。

6）操作禁止・運転モード・設定温度等を設定します
操作禁止項目は手元リモコンからの操作の許可／禁止を設定できます。運転/停止・運転モード・設定温度の各項目において禁止/許可の設定ができます。
設定を変更しない場合は現状維持（アイコン表示なし）に設定します。

運転モードは各モードのボタンをクリックして選択状態にします。現状維持の場合はボタンを全て選択なし状態にします。
設定温度は［設定温度］ボタンをクリックすることで、温度設定が可能になります。▲／▼ボタンで温度を変更できます。現状維持の場合は再度［設定温度］ボタンをクリックして選択解除します。
※設定されたスケジュールを削除する場合は［削除］ボタンをクリックします。

7）［ＯＫ］ボタンを選択します
設定終了後に［ＯＫ］ボタンをクリックします。本設定を有効にし、年間スケジュール設定画面に戻ります。
※［キャンセル］ボタンを選択すると、設定内容が無効になります。

お知らせ
・動作設定は最大１２回まで設定することが可能です。
・２つ以上のグループを一括スケジュールモニタした場合、異なる設定があると設定欄が水色表示されます。

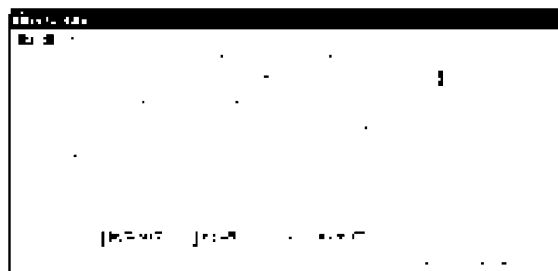
（２）パターンの変更

設定したパターンを変更する場合、本機能を使用します。
［操作方法］

1）［パターン設定/変更］を選択します
年間パターン設定画面を表示します。

2）動作表示ボックスを選択します
変更したい動作表示ボックスをクリックします。スケジュール詳細設定画面が表示されます。

3）スケジュール内容を変更します
操作方法については7．３章の「（１）年間パターンの設定」を参照下さい。又、設定時間のみ変更する場合は、動作表示ボックスをドラッグすると変更できます。（10分単位）

4）［ＯＫ］ボタンを選択します
設定終了後に［ＯＫ］ボタンをクリックします。本設定を有効にし、年間スケジュール設定画面に戻ります。
※［キャンセル］ボタンを選択すると、設定内容が無効になります。

（３）パターンの解除

［操作方法］

1）解除したいパターンを選択します
解除したいパターンのボタンをクリックするとメニューが表示されます。

2）クリアを選択します
メニューの［クリア］をクリックします。すると、クリア確認画面を表示します。

3）［ＯＫ］ボタンを選択します
確認後に［ＯＫ］ボタンをクリックすると、設定スケジュールをクリアします。
※［キャンセル］ボタンをクリックすると、クリアされません。

（4）パターンのコピー

本機能は指定したパターンのスケジュール設定を別のパターンにコピーする機能です。

［操作方法］

1）コピー元のパターンを選択します

コピー元のパターンのボタンをクリックするとメニューが表示されます。

2）［コピー］を選択します

メニューから［コピー］をクリックします。

3）コピー先のパターンを選択します

コピー先のパターンのボタンをクリックするとメニューが表示されます。

4）［貼り付け］を選択します

メニューから［貼り付け］をクリックするとコピー元のパターンのスケジュールを貼り付けます。
続けて別のパターンにも貼り付けできます。

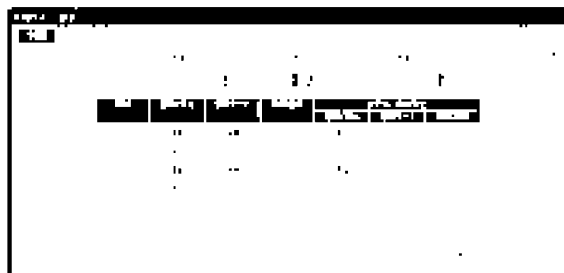
（5）パターン内容確認

［操作方法］

1）パターンボタンを選択します

パターンボタンをクリックするとメニューが表示されます。

2）［ビュー］を選択します

メニューの「ビュー」をクリックすると、詳細表示画面を表示します。詳細表示画面には「時刻」、「運転／停止」、「運転モード」、「設定温度」、「リモコン操作禁止」の各詳細内容を表示します。

お知らせ

・詳細表示画面の設定時刻をクリックしますと、スケジュール詳細設定画面が表示されます。この画面でスケジュールの変更も可能です。
・動作表示ボックスをクリックしても、同様に変更可能です。

3）［ＯＫ］ボタンを選択します

確認後または変更後に［ＯＫ］ボタンをクリックします。変更内容を保存して年間パターン設定画面に戻ります。

※［キャンセル］ボタンを選択すると、設定内容が無効になります。

（6）年間スケジュール設定

［操作方法］

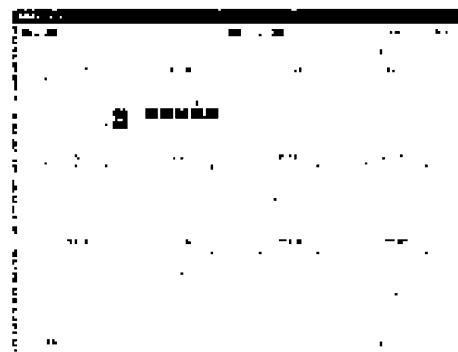
1）パターンボタンを選択します

年間スケジュール設定画面のパターンボタンを選択します。

2）日付を選択します

スケジュール実行させたい日付をクリックします。
日付枠が青色に変わりスケジュール設定されます。

注意

・スケジュール設定を行う前に、［モニタ更新］ボタンでＧ50に設定されているスケジュールをモニタ表示してください。
モニタ更新することによりスケジュール設定間違いを防ぐことができます。

（7）年間スケジュール解除

［操作方法］

1）スケジュール設定されている日付を選択します

メニューが表示されます。

2）［スケジュール設定解除］を選択します

メニューより［スケジュール設定解除］をクリックします。
日付に設定しているパターン割当を削除します。

（8）年間スケジュール内容確認

［操作方法］

1）スケジュール設定されている日付を選択します

　メニューが表示されます。

2）スケジュールビューを選択します

　メニューより［スケジュールビュー］をクリックします。スケジュールビューが表示されます。

3）［キャンセル］ボタンを選択します

　確認後に［キャンセル］ボタンをクリックします。年間スケジュール設定画面に戻ります。

> お知らせ
> ・ビュー画面では設定内容を変更することはできません。

年間スケジュール設定の終了

［送信］または［キャンセル］を選択します

年間スケジュール設定や変更が完了したら、［送信］ボタンをクリックして下さい。

送信　　　：本設定を有効にし、G 50 にスケジュール送信して監視／操作画面に戻ります。

キャンセル：本設定を無効にし、監視／操作画面に戻ります。

（監視／操作画面に戻ると設定したグループアイコンにスケジュールマークが表示されます。）

7．4　スケジュールビュー

週間スケジュールと当日および翌日スケジュールの G 50 に設定されている内容を表示します。
G 50 と通信できない場合は、統合ソフト TG 2000 の保持している情報で表示します。

通常画面からスケジュールビューへの移動

［操作方法］

1）［操作／監視］機能を選択します

　機能選択ボタンから［監視／操作］ボタンをクリックすると、監視／操作画面が表示します。

2）スケジュールビューを表示する対象を選択します

　スケジュールを表示する対象をクリックします。
表示されたメニューの「スケジュール」にマウスカーソルを合わせると、スケジュールメニューが表示されます。

> お知らせ
> ・＿＿線部については「6．1（2）操作する対象を選択する」を参照ください。

3）スケジュールビューを選択します

　メニューから［スケジュールビュー］をクリックすると、スケジュールビュー画面が表示されます。

> お知らせ
> ・スケジュールは全て G 50 よりデータ収集を行った後に表示しますので、表示までにしばらく時間がかかる場合があります。
> ・スケジュールビュー画面ではスケジュールの変更はできません。

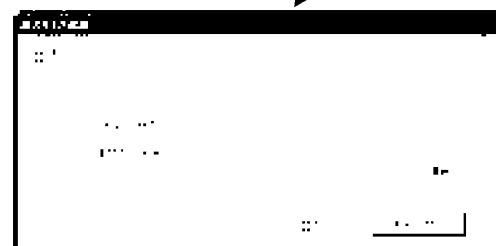
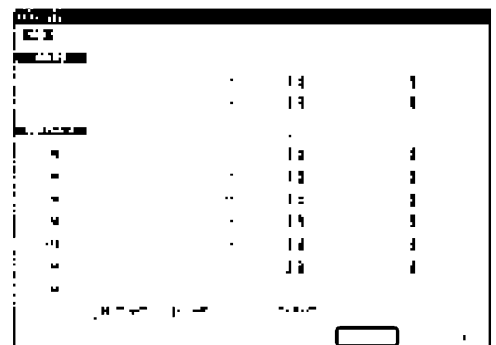
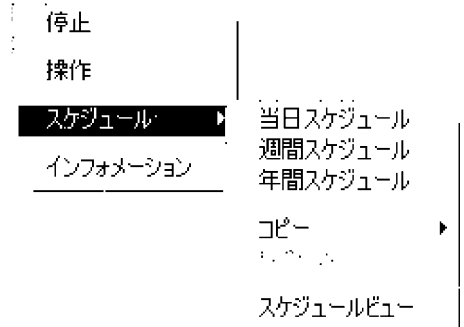
スケジュールの出力

［操作方法］

1）［出力］ボタンを選択します

　スケジュールビュー画面で［出力］ボタンをクリックすると、出力タイプ選択画面が表示されます。

2）出力ファイル名を入力します

　出力ファイル名欄に出力するフォルダ名と出力ファイル名を入力します。［選択］ボタンをクリックすると、既存のフォルダ、ファイル名を選択することができます。

3）［出力］を選択します

ファイルが出力されて、スケジュールビュー画面に戻ります。

お知らせ
・出力形式はCSVタイプでファイル出力します。

７．５　スケジュールコピー

スケジュールの設定内容をグループ単位でコピーすることができます。コピーする対象は、当日スケジュール、週間スケジュール、年間スケジュール、週間＆年間スケジュールから選択することかできます。

グループ間のスケジュールコピーの方法

［操作方法］

1）［操作／監視］機能を選択します

機能選択ボタンから［監視／操作］ボタンをクリックすると、監視／操作画面が表示します。

2）スケジュールコピー元を選択します

スケジュールコピー元をクリックします。
表示されたメニューの［スケジュール］にマウスカーソルを合わせると、スケジュールメニューが表示されます。

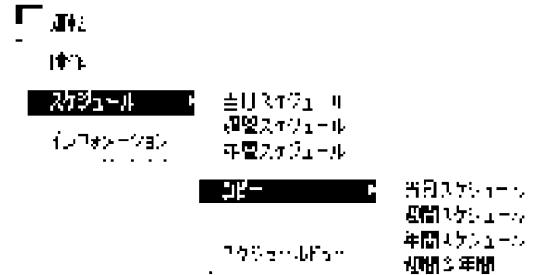
3）コピー－当日スケジュールを選択します

メニューから［コピー］－［当日スケジュール］をクリックします。

4）スケジュールコピー先を選択します

スケジュールコピー先をクリックして下さい。
表示されたメニューの［スケジュール］にマウスカーソルを合わせると、スケジュールメニューが表示されます。

5）［貼り付け］を選択します

スケジュールが全て貼り付けられます。

お知らせ
・週間スケジュール、年間スケジュール、週間＆年間も同様にコピーできます。

８．１　異常履歴・操作履歴

履歴には異常履歴と操作履歴の２種類があります。

・異常履歴：現在発生している異常と過去に発生した異常を表示します。

・操作履歴：過去に行われた操作（課金設定操作、スケジュール設定操作、異常履歴削除操作）を表示します。

（１）通常画面から履歴画面への移行

［操作方法］

１）履歴を選択します

機能選択ボタンから［履歴］ボタンをクリックします。

２）履歴を表示する対象を選択します

履歴を表示する対象をクリックすると履歴画面を表示します。

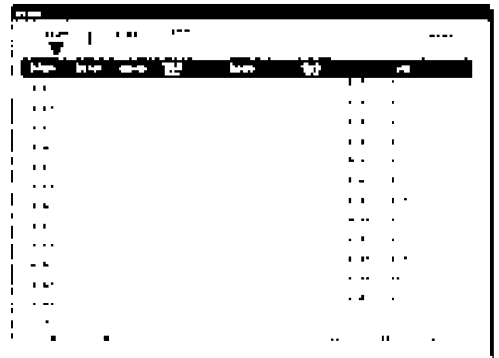
お知らせ
・＿＿線部については「６．１（２）操作する対象を選択する」を参照下さい。

以下の操作は履歴画面から行ないます。

（２）履歴画面の説明

異常履歴

異常履歴は空調機の故障や伝送システム故障などを発生順に表示します。最大1000件の履歴が可能で、1000件を超えると古い順に削除されます。

異常種別－異常種類「通信異常」「ユニット異常」「その他」を表示します。
発生日時－異常が発生した日時を表示します。
復旧日時－異常が復旧した日時を表示します。空白の場合は異常中を表します。
発生元アドレス－異常が発生した機器のＧ50番号とアドレスを表示します。
発生場所－左に発生したフロア、右にグループ名または機器名を表示します。
検出元アドレス－異常を検出した機器のＧ50番号とアドレス、または機器名を表示します。
内容　　－エラーコードとその説明を表示します。

お知らせ
・異常履歴の内容は１２章の異常一覧表を参照ください。

操作履歴

操作履歴はマンマシンで行なった操作を表示します。ただし、スケジュール設定、異常履歴削除などの限定した操作のみです。最大10000件の履歴が可能で、10000件を超えると古い順に削除されます。

操作日時－操作した日時を表示します。
操作先アドレス－操作命令された機器のＧ50番号とアドレスを表示します。
操作対象－操作した対象を表示します。
操作場所－左に発生したフロア、右にグループ名または機器名を表示します。
操作内容－行なった操作の内容を表示します。

お知らせ
・操作履歴には、下記の項目の内容が履歴されます。
　課金設定操作、スケジュール設定操作、異常履歴削除操作
・操作履歴画面は全館画面でのみ表示されます。
・データ格納のタイミングにより、実際に操作した順番と異なる順番で履歴が表示されることがあります。

（3）履歴画面の操作

異常履歴と操作履歴との表示切換、画面の更新ができます。

［操作方法］

履歴表示の切換

［異常履歴］ボタンをクリックすると異常履歴に、［操作履歴］ボタンをクリックすると操作履歴に表示が切換わります。

画面の更新（異常履歴のみの機能）

［履歴更新］ボタンをクリックすると接続されている全Ｇ50に対して、履歴更新のモニタを行います。そのため、モニタ通信に時間がかかる場合があります。また、履歴更新時には更新時刻が表示されます。

（4）履歴の検索

本機能は、設定した条件を元に履歴を検索する機能です。
検索項目には下記の項目があり、これを組合せることで検索条件を設定することができます。

異常履歴の検索

1）異常種別からの検索
異常種別を選択します。
2）異常の発生した日付からの検索
発生した日付を指定します。
3）異常の復旧した日付からの検索
復旧した日付の指定と未復旧の異常を検索します。
4）異常の発生した箇所からの検索
Ｇ－５０、マンマシン、ユニットを指定します。
Ｇ－５０とユニットの場合は、アドレスも指定します。
アドレスを『０』にすると全アドレス指定の意味になります。
4）異常コードからの検索
異常の原因となる異常コードを指定します。
異常コードは「*」（ワイルドカード）を使って複数のコードを指定することもできます。

操作履歴の検索

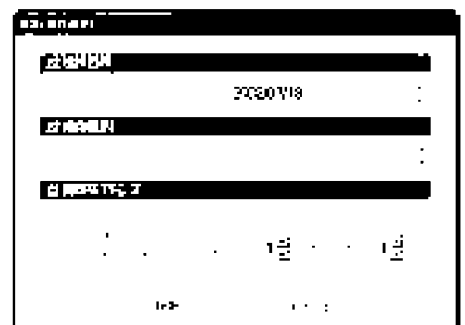
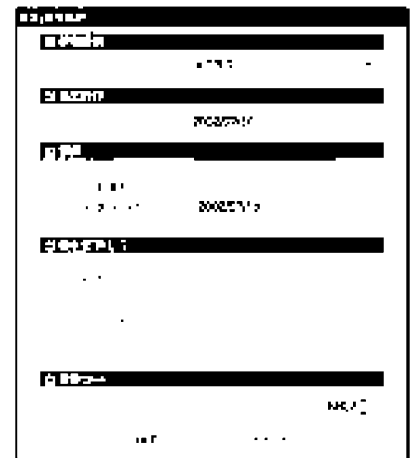
1）操作した日付からの検索
操作した日付の指定をします。
2）操作種別からの検索
操作種別の指定をします。
「スケジュール」を指定した場合、操作先アドレスも指定します。
3）操作先アドレスの指定
Ｇ－５０、グループを指定します。アドレスも指定します。
アドレスを『０』にすると全アドレス指定の意味になります。

［操作方法］

1）［検索］ボタンを選択します

［検索］ボタンをクリックすると検索画面が開きます。

2）検索項目を入力します

検索項目のチェックボックスで検索条件を設定して下さい。
対象はオプションボタンで指定して下さい。
数値入力は数値部右側の「▲／▼」ボタン、または、数値部をクリックすることでキーボードから入力することもできます。
複数の項目を選択することで条件を組み合せることもできます。
（ＡＮＤ条件での検索になります。）

3）［検索］ボタンを選択します

検索条件を設定したら、［検索］ボタンをクリックします。すると、検索結果を表示します。
（条件に合った履歴が存在しない場合、何も表示されません）

検索　　　：履歴表示画面に検索条件に合った履歴を表示します。
キャンセル　：履歴表示画面に戻ります。

（5）履歴の削除

異常履歴の削除

［操作方法］

1）［削除］ボタンを選択します

「削除」ボタンをクリックすると、履歴削除画面が表示されます。

2）削除対象を選択します

コンボボックスより削除対象のＧ50またはマンマシンを選択します。

お知らせ
・削除はＧ50単位またはマンマシンが保持する異常履歴を一括削除します。

3）［削除］ボタンを選択します

削除対象を設定したら［削除］ボタンをクリックします。
対象機器の全ての履歴を削除して、履歴表示画面に戻ります。

※［キャンセル］ボタンをクリックすると履歴を削除せず、履歴表示画面に戻ります。

お知らせ
・一度削除した履歴データは、２度と復旧できません。

操作履歴の削除

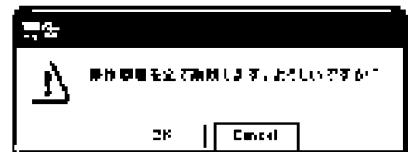
［操作方法］

1）［削除］ボタンを選択します

［削除］ボタンをクリックすると、履歴削除確認画面が表示されます。

2）［ＯＫ］ボタンを選択します

［ＯＫ］ボタンをクリックします。すると、操作履歴全てを削除して、履歴表示画面に戻ります。

※［キャンセル］ボタンをクリックすると履歴を削除せず、履歴表示画面に戻ります。

（6）履歴の出力

1日分または1ヶ月分の履歴を出力します。
出力はファイル出力（CSV形式）のみ対応しています。
（検索結果の履歴は出力できません。）

［操作方法］

1）［日報］または［月報］ボタンを選択します

［日報］ボタンまたは［月報］ボタンをクリックすると、履歴出力画面を表示します。

2）出力したい年月日を入力します

年月日を数値部右の「▲／▼」ボタンで設定します。
数値部をクリックすると、キーボードからの入力もできます。入力を終えたら［出力］ボタンをクリックします。（出力を中止する場合は［キャンセル］ボタンをクリックします。）

※月報の場合は、年と月のみ使用し、日の設定値は無視します。

3）出力ファイル名を入力します

ファイル名の入力を設定します。［選択］ボタンで保存場所を参照できます。

4）［出力］ボタンを選択します

［出力］ボタンをクリックすると入力した範囲内で発生した履歴を出力します。

※［キャンセル］ボタンをクリックすると、履歴を出力しないで、履歴表示画面に戻ります。

８．２　運転時間の表示

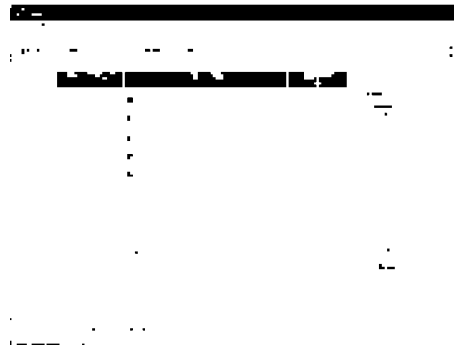
空調機の運転時間をグループ単位で積算し、その時間を表示します。

> お知らせ
> ・本スケジュール機能を使用する場合は、集中コントローラＧ50に『電力按分課金』のライセンス登録が必要です。集中コントローラＧ50にライセンスがない場合は、運転時間の積算表示が正常に動作しません。また、マンマシンの初期設定画面にて課金機能を「なし」の場合は運転時間を表示できません。

（１）通常画面から運転時間画面への移行

［操作方法］

１）［運転時間］ボタンを選択します

機能選択ボタンから［運転時間］ボタンをクリックすると、運転時間画面が表示されます。フロア切換ボックスで目的のフロアを選択します。

（２）運転時間モニタの説明

左からグループアドレスーグループ名ー運転時間が表示されます。運転時間の単位は「時間」です。

（３）運転時間モニタの操作

［操作方法］

１）［画面更新］ボタンを選択します

［画面更新］ボタンをクリックすると最新情報に表示を更新します。更新した時刻は画面右の更新時刻に表示されます。

> お知らせ
> ・一度削除した運転時間は、二度と復旧できません。
> ・定期的に運転時間が更新されます。

（４）運転時間のリセット

［操作方法］

１）グループを選択します

画面中のリセットしたいグループをクリックすると、グループは選択され青色に変わります。再度クリックすると選択を解除します。

［全選択］ボタンで全てのグループを選択できます。

［選択解除］ボタンで全ての選択を解除できます。

２）［クリア］ボタンを選択します

［クリア］ボタンをクリックすると、選択したグループの運転時間をクリアします。

（５）運転時間データの出力

本機能は、運転時間データを出力する機能です。出力方法は印刷、またはファイル出力（CSV形式）から選択ができます。

［操作方法］

１）［出力］ボタンを選択します

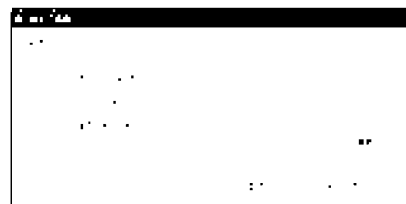
［出力］ボタンをクリックすると、運転時間出力画面を表示します。

２）［印刷］または［ファイル出力］を選択します

印刷の場合は「プリンター出力」、ファイル出力の場合は「ファイル出力」のオプションボタンをクリックします。ファイル出力の場合はファイル名を入力します。［選択］ボタンで保存場所を参照できます。

３）［出力］ボタンを選択します

「出力」ボタンをクリックすると表示しているフロアの運転時間全てを出力します。

※［キャンセル］ボタンをクリックすると、出力しないで、運転画面に戻ります。

８．３　フィルタリセット操作

８．３．１　自動の状態表示

ユーザ設定画面で機能設定の「フィルタサインを自動表示する」を選択した場合の操作方法です。

（１）通常画面からフィルターサイン画面への移行

［操作方法］

１）［フィルターサイン］ボタンを選択します

機能選択ボタンから［フィルターサイン］ボタンをクリックすると、フィルターサイン画面が表示します。フロア切換ボックスで目的のフロアを選択します。

（２）**フィルターサイン画面の説明**

フィルターサインはグループアイコンにフィルターのアイコンが表示されます。

※フィルタサインは該当グループのみ表示されます。

（３）**フィルターリセット**

［操作方法］

1）グループを選択します

フィルターサインが表示されているグループをクリックすると、フィルターリセット確認画面が表示されます。

フロア全体をリセットする場合は［フロア一括］ボタンをクリックします。

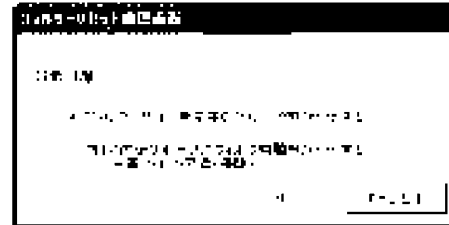
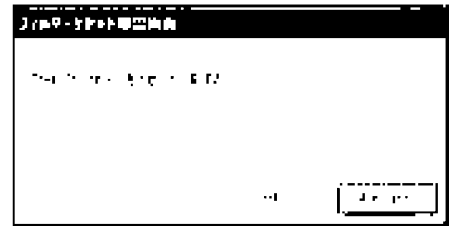
2）リセットの種類を選択します

［フロア一括］ボタンを選択すると、フィルタサイン発生中のユニットを対象にするか、または、全フロアのユニットを対象にするかを選択します。

※フロア一括を選択したときのみ表示します。

3）［ＯＫ］ボタンを選択します

［ＯＫ］ボタンをクリックするとフィルターサインをリセットします。

※［キャンセル］ボタンをクリックするとフィルタサインをリセットせずにフィルターサイン画面に戻ります。

お願い

・必ず実際の機器のフィルターメンテナンス（清掃、交換など）を実施してから当機能を使用して、フィルターサインをリセットしてください。

・フロア内全グループを選択してフィルタリセットすると、フィルタサインの解除および未フィルタサインのグループに対してもフィルタ時間を『０』にリセットします。

８．３．２　手動の状態表示

ユーザ設定画面で機能設定の「フィルタサインを自動表示しない」を選択した場合の操作方法です。

（１）**通常画面からフィルターサイン画面への移行**

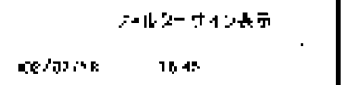
［操作方法］

1）［フィルターサイン］ボタンを選択します

機能選択ボタンから［フィルターサイン］ボタンをクリックすると、フィルターサイン画面が表示されます。

フロア切換ボタンで目的のフロアを選択してください。

2）「フィルターサイン表示」ボタンを選択します

画面左下の［フィルターサイン表示］ボタンをクリックすると、フィルタメンテナンスの情報を反映して、表示します。画面左下の表示が［フロア一括］ボタンに変わります。

（２）**フィルターリセット画面の説明**

８．３．１章の（２）と同じです。

（３）**フィルターリセット**

８．３．１章の（３）と同じです。

８．４　異常発生表示

８．４．１　異常表示

管理画面に異常発生している状況をグループアイコンや監視／操作画面の下部、および、フロア、ブロック、全館、システム機器の画面で確認することができます。

異常の検出ができる機器：室内機、換気ユニット、室外機、Ｇ－５０、リモコン、システムリモコン、グループリモコン、システムコントローラ、Ｋ伝送コンバータ

（１）異常発生時の表示

室内機の異常

グループアイコンが異常発生アイコンになります。
全館表示ではグループに×印が黄色で表示します。ブロックの中に異常ユニットが存在する場合はブロック状態表示が橙色で『異常』になります。

室外機の異常

異常発生した室外機と接続されている機器のグループアイコンの上に[！ＯＣ] が表示されます。システム機器表示画面では異常発生した室外機アイコンに『×』が表示されます。

Ｇ－５０の異常

異常発生したＧ－５０に接続する機器（全機種）のグループアイコンの上に[⚠Ｇ－５０] が表示されます。システム機器表示画面ではＧ－５０アイコンに『×』が表示されます。

監視／操作画面に「機器の異常有無」の表示があり、「正常」または「異常」が表示されます。
対象は、Ｇ－５０とその他機器（室内機除く）に分類されています。

G-50 正常　　その他 正常

８．４．２　異常リセット操作

異常解除操作とは異常発生したユニットに対して異常解除コマンドを送信することです。
ただし、実際にユニット異常の原因を取り除いていない場合は、異常解除操作しても再度異常を検出します。

異常解除ができる機器：室内機、換気ユニット、室外機、リモコン、システムコントローラ、Ｇ　５０（自己検知の異常のみ）

> お知らせ
> ・Ｇ－５０の通信異常は異常解除操作ができません（G-50 自身が検知する通信異常は除きます）。
> ・異常解除はＧ－５０単位で一括異常解除を行います。

（１）異常解除の方法

［操作方法］

１）［監視／操作］機能を選択します

機能選択ボタンから［監視／操作］ボタンをクリックすると、監視／操作画面を表示します。

２）異常解除する対象を選択します

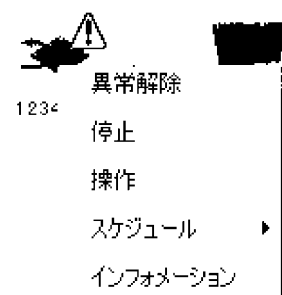
異常解除する対象をクリックすると、メニューが開きます。

> お知らせ
> ・＿＿線部については「６．１（２）操作する対象を選択する」を参照ください。

３）［異常解除］を選択します

異常解除をクリックすると、確認画面が表示されます。

４）［ＯＫ］ボタンを選択します

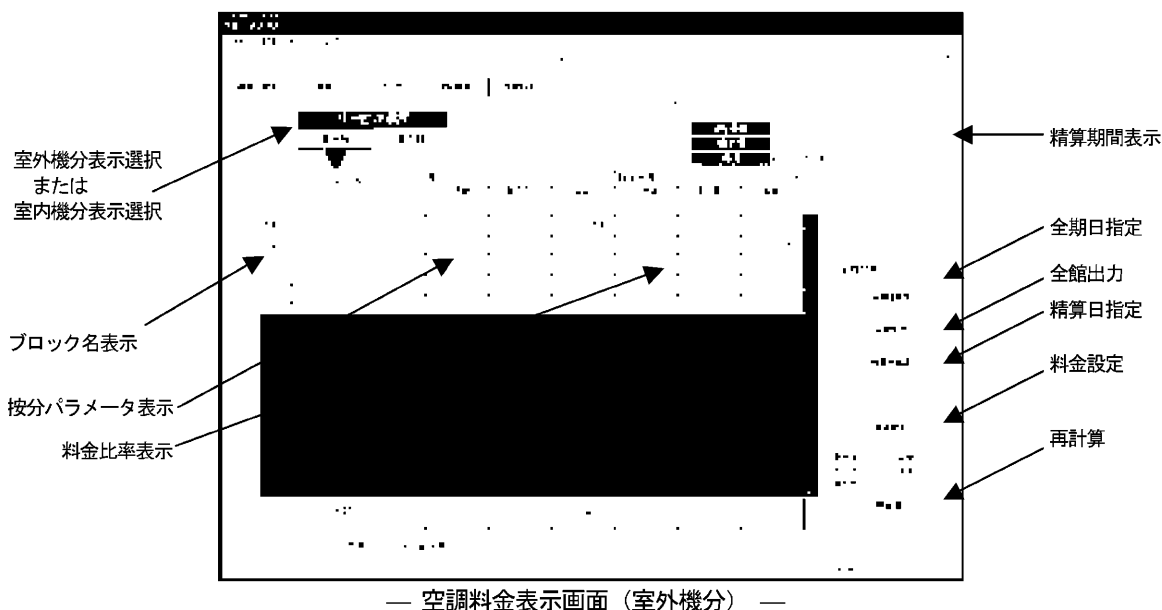
［ＯＫ］ボタンをクリックすると異常解除操作を行ないます。
※［キャンセル］ボタンをクリックすると、異常解除操作せず、操作／監視画面に戻ります。

９．空調料金のモニタ

９．１　空調料金表示機能

通常画面の上部左側の［空調料金］ボタンをクリックすると、本画面が表示されます。
空調料金画面（料金比率）には、室外機分表示と室内機分表示の２種類があります。

お知らせ
・本機能はユーザー設定にて「課金機能を使用する」を選択していないと、使用できません。
（「空調料金」ボタンも表示されません。）
・集中コントローラＧ50に『電力按分課金』のライセンスを登録していない場合は、本空調料金の機能は正常に動作しません。
・M-NET室内機の冷媒使用電力量のみ対象となります。
料金比率は室内機容量と使用パラメータおよび料金単価から仮算出し、ブロック毎に比率を求めたものです。別途、使用電力量または料金が必要で、そのまま使用できません。
按分パラメータ：室内機容量と使用パラメータから算出したものです。
料金比率　　　：按分ﾊﾟﾗﾒｰﾀと単価かけたものの、全ブロックに対する比率です。
・初期画面の課金（システム）設定で諸項目を設定しないと、正常に電力按分課金計算できません。
※課金システム設定については「現地調整編８．８章　課金システム設定」を参照ください。

機能一覧

— 空調料金表示画面（室外機分）—

［表示及び各ボタンの説明］

（１）室外機
ブロック単位の室外機分の空調料金（按分パラメータ、料金比率）を３ヶ月前まで表示します。

（２）室内機
ブロック単位の室内機分の空調料金（按分パラメータ、料金比率）を３ヶ月前まで表示します。

（３）按分パラメータ表示
ブロック単位の按分パラメータを表示します。

（４）料金比率表示
ブロック単位の空調料金の料金比率を表示します。

（５）合計表示
按分パラメータ及び料金比率の１ヶ月分合計を表示します。

（６）全館対象
全館（全課金ブロック）を対象に空調料金の設定や計算・出力を行ないます。

１）全期日指定
全ブロックの空調料金（按分ﾊﾟﾗﾒｰﾀ及び料金比率）を期日指定して計算・出力します。

２）全館出力
全ブロックの空調料金（按分ﾊﾟﾗﾒｰﾀ及び料金比率）を月単位で計算・出力します。

3）精算日指定
空調料金の精算日を指定します。
4）料金設定
空調料金の電気使用料金単価設定画面を呼び出します。
（7）再計算
空調料金を再計算します。

９．２　課金ブロックの料金比率表示

空調料金室外機分表示

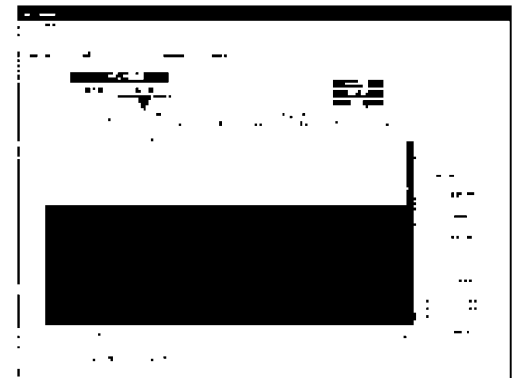
（1）表示対象を選択する

1）表示対象を選択します
画面左上の［室外機］又は［室内機］ボタンで表示対象を選択します。

（2）表示色

文字の表示色は次のような意味です。
黒文字：正常
赤文字：異常
青文字：メンテナンス

お知らせ
・按分パラメータや料金比率の表示は未表示桁を**四捨五入**した値になっています。
また、合計値は表示している値を合計した値です。
・メンテナンス機能を使用して按分パラメ－タ値を変更し、再計算を行なうと文字が青色になります。
・課金ブロックとは操作用ブロックから構成されています。

参考）・メンテナンス機能については、「現地調整編」（９．２課金データの保守）を参照ください。
・再計算機能については、本章「９．６ 空調料金の再計算」を参照ください。

空調料金室内機分表示

９．３　空調料金の出力

（1）自動出力機能を設定する

［操作方法］
1）［精算日指定］ボタンを選択します
画面下右側の［精算日指定］ボタンをクリックすると、精算日指定画面が表示されます。
2）精算日を設定します
月末に設定する場合は、［月末］をチェックします。月末以外に設定する場合は、［日指定］をチェックして、▲／▼ボタンをクリックして日付を設定してください。
（キーボードからも文字入力ができます。）

精算日設定表示

お知らせ
・精算日の翌日（09:15 以降）に当月分の空調料金を精算し、（09:45 以降に）印刷、または、ファイル出力します。

お願い
・空調料金の自動出力機能を利用するためには、ユーザー設定の空調料金自動出力を有効に設定してください。
・「空調料金出力処理」は「標準出力」、「ユニット毎の内訳あり」、「時間内外の内訳あり」の内より選択してください。（詳細は「現地調整編」（８．３ユーザー設定）を参照ください。）

（２）各機能の説明

１）全館の空調料金の出力

全ブロックを下記項目毎に出力します。

全期日指定　：期日を指定して計算・出力します。

全館出力　　：先月、先々月、３ヶ月前を選択して月単位で出力します。

お願い

・当機能を利用して印刷をする場合は、ユーザー設定にて「プリンタ設定」を「プリンタあり」に設定してください。

（３）全館の空調料金を出力する

期日を指定して空調料金を出力します

[操作方法]

１）全期日指定を選択します

画面右側の「全館対象」内の［全期日指定］ボタンをクリックすると、全期日指定設定画面が表示されます。

２）期日を指定します

▲／▼ボタンをクリックして期日の開始と終了を設定します。

３）［ＯＫ］ボタンを選択します

出力する期日を指定したら、［ＯＫ］ボタンを選択します。

ＯＫ　　　：本設定を有効にし、次の設定画面に進みます。

キャンセル：本設定を無効にし、空調料金画面に戻ります。

全期日指定設定画面

４）計算内容を確認します

1）～3）項の設定により、対象、期日、按分パラメータ、料金比率が表示されます。※表示内容を確認してください。

お知らせ

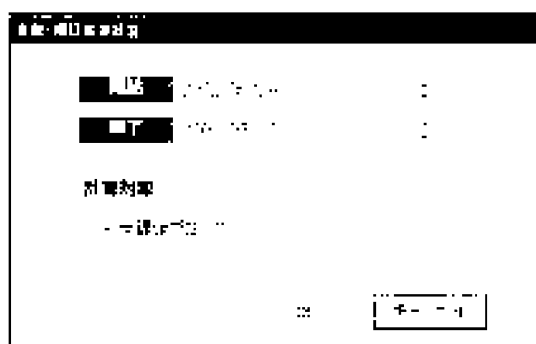
・「全期日指定」ボタンをクリックした時に表示していた対象（室外機、または、室内機）の計算を最初に表示します。
「室内機」または「室外機」をクリックすると表示対象を切り替えます。出力は両方とも出力されます。

全館期日指定計算結果表示画面

５）［出力］ボタンを選択します

出力する内容を確認したら、［出力］ボタンをクリックします。

出力　　　：本設定を有効にし、出力方法設定画面に進みます。

キャンセル：本設定を無効にし、空調料金画面に戻ります。

以上で全期日指定計算・出力の設定は終了です。

お知らせ

・＿＿＿＿線部の「印刷方法設定画面」は他の機能と　共通の画面です。
詳細は、「９．３（４）　出力方法設定」を参照ください。

１ヶ月前、２ヶ月前、３ヶ月前を指定して空調料金を出力します

[操作方法]

１）全館出力を選択します

画面右側の「全館対象」内の［全館出力］アイコンをクリックすると、全館出力設定画面が表示されます。

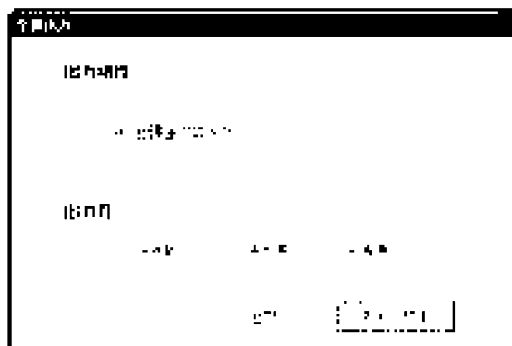
２）出力する月を設定します

出力する月をクリックして出力する月を設定します。

３）［出力］ボタンを選択します

出力する月を指定したら、［出力］ボタンをクリックします。

出力　　　：本設定を有効にし、出力方法設定画面に進みます。

キャンセル：本設定を無効にし、空調料金画面に戻ります。

全館出力設定画面

以上で全館出力の設定は終了です。

お知らせ
・＿＿＿＿線部の「印刷方法設定画面」は他の機能と　共通の画面です。
詳細は、「９．３（４）　出力方法設定」を参照ください

（４）出力方法設定

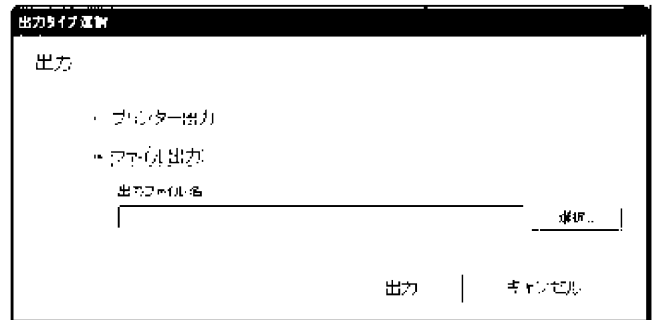
前述の（３）の各出力機能には以下の操作が必要です。

[操作方法]

１）出力方法を選択します

出力方法を表示します。
印刷する場合は［印刷］を選択し、ファイル出力する場合は［ファイル出力］をクリックしてファイル名を入力します。

２）［出力］ボタンを選択します

出力方法を選択したら、［出力］ボタンをクリックすると、出力処理を行ないます。
※［キャンセル］ボタンをクリックすると本設定を無効にし、空調料金表示画面に戻ります。

出力タイプ選択画面

９．４　空調料金基本設定

空調料金の基本設定を設定する

[操作方法]

１）［料金設定］を選択します

画面右側下の［料金設定］アイコンをクリックすると、空調料金の電気使用料金単価設定画面が表示されます。

２）料金単価を設定します

※本機能の設定方法等詳細は「５．２．１　料金設定」を参照ください。

３）［ＯＫ］ボタンを選択します

基本設定を設定すると、［ＯＫ］ボタンをクリックします。
※［キャンセル］ボタンをクリックすると、本設定を無効にします。

９．５　空調料金の再計算

空調料金を再計算する

本機能はすでに算出されている按分パラメータを基に一月分の空調料金を再計算します。
メンテナンス機能を使用して、按分パラメータを修正した場合、本機能を利用して空調料金を再計算できます。

[操作方法]

１）［再計算］を選択します

画面右側下の［再計算］ボタンをクリックすると、再計算設定画面が表示されます。

２）再計算する月を選択します

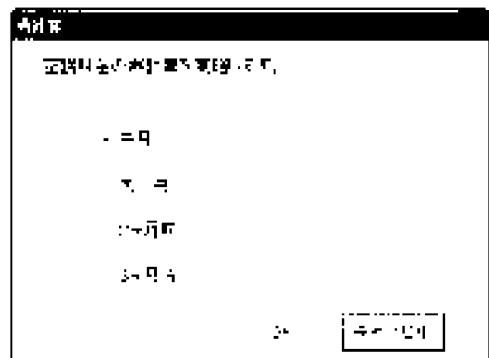
再計算する月をクリックして選択します。

３）［ＯＫ］ボタンを選択します

再計算する月を指定したら、［ＯＫ］ボタンをクリックします。すると、本設定を有効にし、指定された月の空調料金を再計算して、空調料金表示画面に反映します。
注意）計算を実施する前に右記の計算確認画面が表示されます。［ＯＫ］ボタンをクリックすると再計算を実施します。

再計算設定画面

再計算確認画面

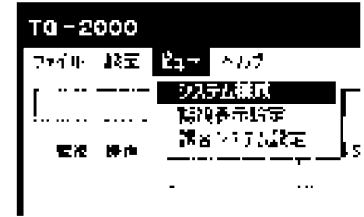
※［キャンセル］ボタンをクリックすると、本設定を無効にし、空調料金表示画面に戻ります。

お知らせ
・按分パラメータの修正方法は、取扱説明書「現地調整編」の「９．２課金データの保守」を参照してください。

１０．システム表示（ビュー画面）

現在のシステム構成、監視表示設定画面と課金システム設定を表示できます。
本機能はシステム状態を確認する機能で、変更はできません。

１０．１　システム構成表示

各設定画面に表示されるアイコンに対応するユニットは右の表を参照して下さい。

メニューバーの［ビュー］－［システム構成］を選択します
システム構成のビュー画面が表示されます。

お知らせ
・システム構成を変更する場合は、現地調整編「８．５システム構成設定」を参照ください。

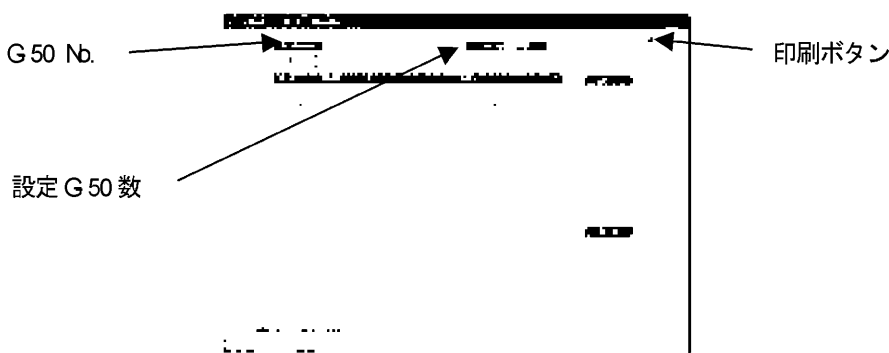
各画面に表示される［次へ］［終了］［戻る］ボタンは次のように動作します。
次へ　：次の画面に進みます。
終了　：管理画面に戻ります。
戻る　：一つ前の画面に戻ります。

アイコン	名称
IC	室内機
LC	ロスナイ
FU	加熱加湿付ロスナイ
KIC	K制御用室内機
AIC	A制御用室内機
OC	室外機
OC-I	蓄冷熱室外機
BC	分流コントローラ
CS	定速ユニット
IU	室外サブコントローラ（IOE-Y-A）
BS	サブ分流コントローラ
TU	蓄熱槽ユニット
RC	リモコン/ロスナイリモコン（コンパクトリモコン）
GR	グループリモコン
SR	システムリモコン
AN	ON/OFFリモコン
SC	その他のシステムコントローラ
KA	K伝送コンバータ
TR	集中コントローラ（MJ-103）

（１）Ｇ－５０のユニット構成

設定Ｇ－５０数とＧ－５０毎のユニット構成を表示します。
「▲／▼」ボタンをクリックして、表示するＧ－５０を選択します
枠内の数字がアドレスで、表示しているアイコンは選択したＧ－５０にユニットが接続されていることを表します。
また、印刷ボタンで画面の印刷ができます。
設定内容を確認後、［次へ］ボタンをクリックします

（２）冷媒系設定の表示

Ｇ－５０毎に各室外機の冷媒系を表示します。
左端のＯＣの同列にあるユニットが接続されていることを表します。
「▲／▼」ボタンをクリックして、表示するＧ－５０を選択します
また、印刷ボタンで画面の印刷ができます。
設定内容を確認後、［次へ］ボタンをクリックします

（３）グループ設定の表示

Ｇ－５０毎に各室内機、換気機器のグループ設定を表示します。

左端のグループNo.の同列にあるユニットが同じグループに接続されていることを表します。

「▲／▼」ボタンをクリックして、表示するＧ－５０を選択します

Ｇ－５０　Ｎｏ．横の「▲／▼」ボタンをクリックして、Ｇ－５０を選択すると、Ｇ－５０毎のユニットを表示します。また、印刷ボタンで画面の印刷ができます。

設定内容を確認後、［次へ］ボタンをクリックします

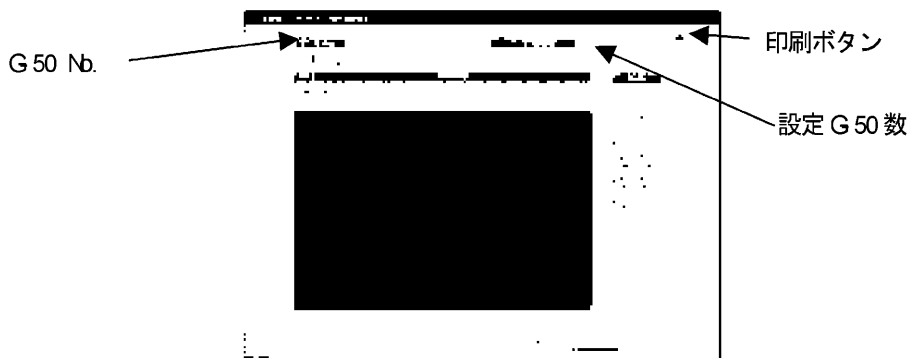
（４）連動機設定の表示

Ｇ－５０毎に連動機設定を表示します。

左端の換気ユニットNo.の同列にある室内ユニットが連動設定されていることを表します。

「▲／▼」ボタンをクリックして、表示するＧ－５０を選択します

Ｇ－５０　Ｎｏ．横の「▲／▼」ボタンをクリックして、Ｇ－５０を選択すると、Ｇ－５０毎の連動設定を表示します。また、印刷ボタンで画面の印刷ができます。

設定内容を確認後、［次へ］ボタンをクリックします

（５）室内機の機能設定の表示

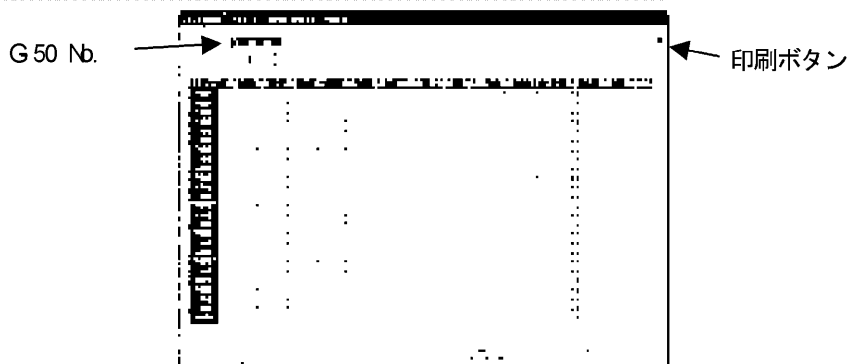
Ｇ－５０毎に各室内機、換気グループの機能設定を表示します。

左端がグループNo.で同列に各機能の有無を表します。

機能は左から属性、室内機モード（送風、冷房、ドライ、暖房、自動）、換気モード（普通換気、熱交換気、自動換気）、風向、スイング、風速、換気連動、中温機能の順に並んでいます。

「▲／▼」ボタンをクリックして、表示するＧ－５０を選択します

また、印刷ボタンで画面の印刷ができます。

設定内容を確認後、［終了］ボタンをクリックします

１０．２　監視表示設定の表示

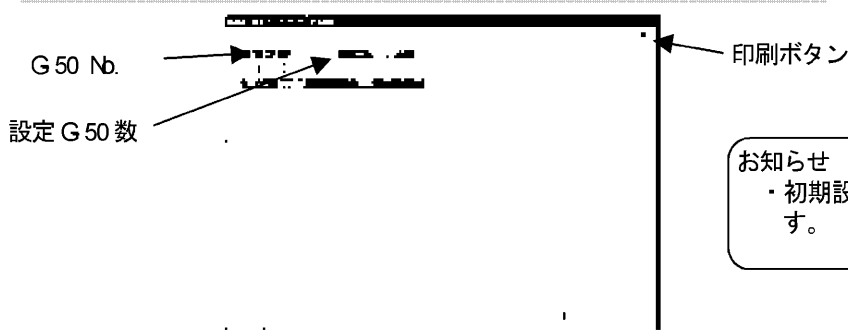
メニューバーの［ビュー］－［監視表示設定］を選択します
現在設定されている監視表示設定の内容が表示されます。

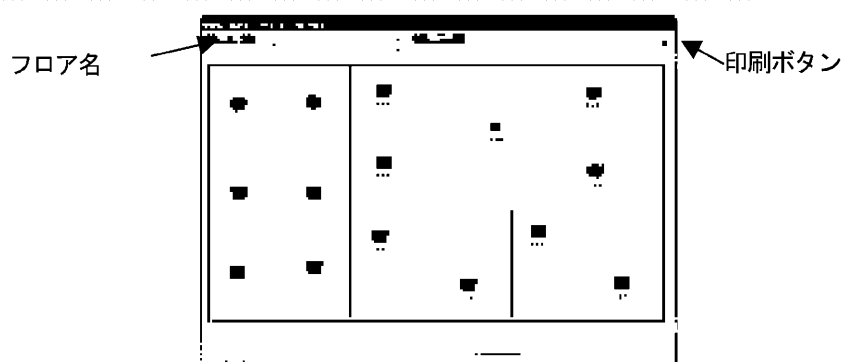
お知らせ
・監視表示設定を変更する場合は、現地調整編の「８．６ 監視表示設定」を参照ください。

各画面に表示される［次へ］［終了］［戻る］ボタンは次のように動作します。
次へ　：次の画面に進みます。
終了　：管理画面に戻ります。
戻る　：一つ前の画面に戻ります。

（１）形名設定の表示

Ｇ－５０毎に室外機、室内機、および換気ユニットの形名設定情報を表示します。
「▲／▼」ボタンをクリックして、表示するＧ－５０を選択します
枠内の数字がアドレスで、表示しているアイコンは選択したＧ－５０にユニットが接続されていることを表します。
また、印刷ボタンで画面の印刷ができます。
設定内容を確認後、［次へ］ボタンをクリックします

お知らせ
・初期設定にて設定した内容を表示します。

（２）ブロック設定の表示

フロア毎に各室内機グループのブロック設定状態を表示します。ブロック設定されているグループにはブロックNo.が表示されます。
フロア名横の「▲／▼」ボタンをクリックして、表示するフロアを選択します
また、印刷ボタンで画面の印刷が可能です。
設定内容を確認後、［終了］ボタンをクリックします

お知らせ
・［ブロック名］ボタンを選択すると、設定されたブロック名称を確認できます。

１０．３　課金システム表示

メニューバーの［ビュー］－［課金システム設定］を選択します

課金システム画面が表示されます。

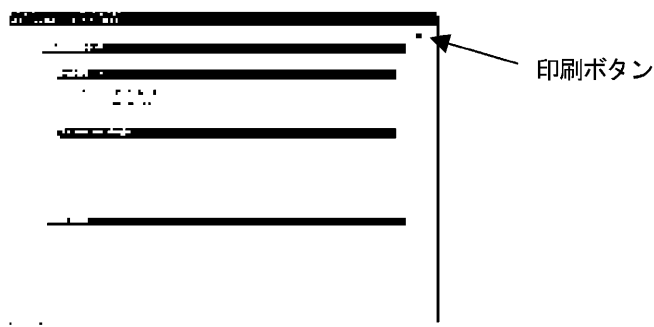
お知らせ
・課金システムを変更する場合は、現地調整編「８．７課金システム設定」を参照ください。
・課金システム表示は各設定モードにより表示されない画面があります。
・料金設定は「空調料金」画面の「料金設定」にて確認または変更できます。

各画面に表示される［次へ］［終了］［戻る］ボタンは次のように動作します。

次へ　：次の画面に進みます。
終了　：管理画面に戻ります。
戻る　：一つ前の画面に戻ります。

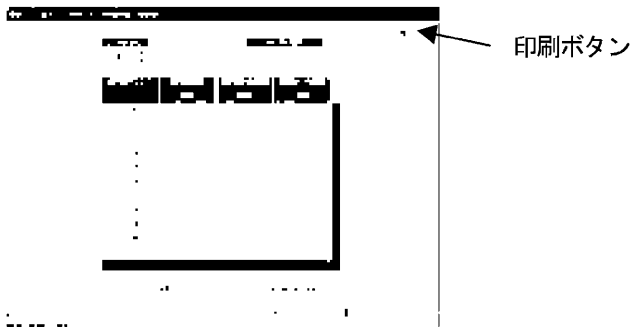
（１）按分モードの表示

按分モードの設定状態を表示します。
また、印刷ボタンで画面の印刷ができます。

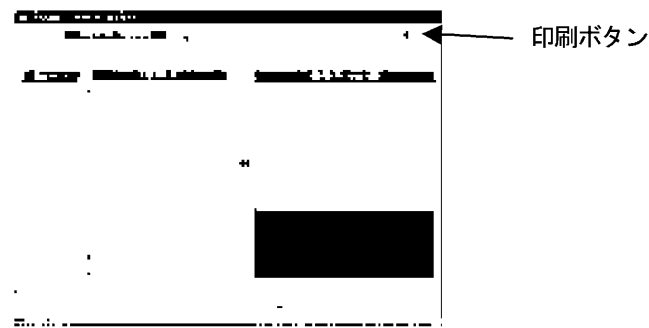
設定内容を確認後、［次へ］ボタンをクリックします

（２）室内機設定の表示

「▲／▼」ボタンをクリックして表示するＧ－５０を選択します

室内機の運転容量と FAN容量、補助ヒーター容量の設定情報を表示します。
また、印刷ボタンで画面の印刷ができます。

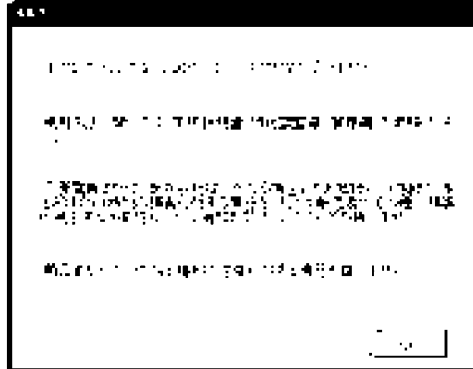
設定内容を確認後、［次へ］ボタンをクリックします

（３）課金ブロック設定の表示

課金ブロックの設定情報を表示します。課金ブロックは操作ブロックから構成されます。
また、印刷ボタンで画面の印刷ができます。

設定内容を確認後、［終了］ボタンをクリックします

１１．ヘルプ

１１．１　ヘルプ

メニューバーの［ヘルプ］－［ヘルプ］を選択します

ヘルプ内容と本プログラムの使用許諾内容が表示されます。
本統合ソフトＴＧ－２０００プログラム（Ｖｅｒ１．００）は、ヘルプ表示に対応していません。
使用方法に関しては、取扱説明書（現地調整編、管理編（本書））を参照ください。

１１．２　バージョン情報

メニューバーの［ヘルプ］－［バージョン情報］を選択します

バージョン情報が表示されます。
本プログラムの形名、バージョンと、初期画面のビル名設定項目にて設定したビル名を表示します。

１２　異常コード一覧

（１）空調ユニットの異常コード

空調ユニットの異常コードと意味を記載します。

0110　機器異常１エラー
0120　機器異常２エラー
0403　シリアル通信異常
0900　試運転モード
1000　冷媒系異常一括
10*0　冷媒系異常　＊系統一括
11**　冷媒系温度異常　部位共通ｵﾍﾟﾗﾝﾄﾞ：**
12**　冷媒系温度異常猶予　部位共通ｵﾍﾟﾗﾝﾄﾞ：**
13**　冷媒系圧力異常　部位共通ｵﾍﾟﾗﾝﾄﾞ：　**
14**　冷媒系圧力異常猶予　部位共通ｵﾍﾟﾗﾝﾄﾞ：　**
1500　冷媒系　冷媒過充填
1501　冷媒系　冷媒不足（／圧縮機シェル温度異常）
1502　冷媒系　液バック
1503　冷媒系　凍結保護
1504　冷媒系　過昇保護
1505　冷媒系　圧縮機真空運転保護／冷媒低温異常
1506　冷媒系　冷媒ポンプ一括異常
1559　均油回路不良
1600　冷媒系　冷媒過充填異常猶予
1601　冷媒系　冷媒量不足
1605　冷媒系　真空運転保護猶予
1607　冷媒系　CS回路閉塞異常猶予
1608　冷媒系　制御弁不良異常猶予
1659　冷媒系　均油回路不良異常猶予
2000　水系異常一括（ポンプインターロック異常）
20*0　水系異常　＊系統一括
21**　水系温度異常　部位共通ｵﾍﾟﾗﾝﾄﾞ：**
22**　水系温度異常猶予　部位共通ｵﾍﾟﾗﾝﾄﾞ：**
23**　水系圧力異常　部位共通ｵﾍﾟﾗﾝﾄﾞ：　**
24**　水系圧力異常猶予　部位共通ｵﾍﾟﾗﾝﾄﾞ：　**
2500　水系　漏水異常
2501　水系　断水
2502　水系　ドレンポンプ異常
2503　水系　ドレンセンサ異常／フロートスイッチ作動
2504　水系　液面レベル異常
2505　水系　冷水電動弁異常
2506　水系　温水電動弁異常
2600　水系　漏水
2601　水系　断水／加湿器断水
2602　水系　ドレンポンプ異常
2603　水系　ドレンセンサ異常
2604　水系　液面レベル異常
3152　空気系　インバーター制御箱内温度異常
3252　空気系　インバーター制御箱内温度異常猶予
3600　空気系　フィルター目詰まり
3601　空気系　フィルターメインテナンス
3602　空気系　ダンパ位置検出異常
37**　空気系　異常猶予　部位共通ｵﾍﾟﾗﾝﾄﾞ：　**
4000　電気系異常一括
40*0　電気系異常　＊系統一括
4100　電気系　過電流遮断
4101　電気系　過電流保護
4102　電気系　欠相異常
4103　電気系　逆相／欠相異常

4104　電気系　漏電
4105　電気系　短絡
4106　電気系　自電源 OFF／停電異常
4107　電気系　過負荷
4108　電気系　過負荷保護／OCR51C
4109　電気系　OCR51F
4110　電気系　高電圧部
4111　電気系　母線電流
4112　電気系　巻線過熱４９℃
4113　電気系　ヒーター過熱
4114　電気系　ファンコントローラー異常
4115　電気系　電源同期異常
4116　電気系　モータ異常／回転数異常
4121　電気系　高調波対策機器異常
4158　電気系　過負荷保護／OCR５１C異常猶予
4171　電気系　高調波対策機器異常猶予
4200　ｲﾝﾊﾞｰﾀ異常一括
420*　ｲﾝﾊﾞｰﾀ異常一括　ｲﾝﾊﾞｰﾀ番号: *
4210　ｲﾝﾊﾞｰﾀ過電流遮断異常一括
421*　ｲﾝﾊﾞｰﾀ過電流遮断　ｲﾝﾊﾞｰﾀ番号: *
4220　ｲﾝﾊﾞｰﾀ母線電圧不足異常一括
422*　ｲﾝﾊﾞｰﾀ母線電圧不足　ｲﾝﾊﾞｰﾀ番号: *
4230　ｲﾝﾊﾞｰﾀ放熱サーモ異常一括
423*　ｲﾝﾊﾞｰﾀ放熱サーモ異常　ｲﾝﾊﾞｰﾀ番号: *
4240　ｲﾝﾊﾞｰﾀ過電流（過負荷）保護異常一括
424*　ｲﾝﾊﾞｰﾀ過電流保護異常　ｲﾝﾊﾞｰﾀ番号: *
4250　ｲﾝﾊﾞｰﾀIPM／母線電圧異常一括
425*　ｲﾝﾊﾞｰﾀIPM異常 *
4260　ｲﾝﾊﾞｰﾀ冷却ファン異常
426*　ｲﾝﾊﾞｰﾀ冷却ファン異常　ｲﾝﾊﾞｰﾀ番号: *
4300　ｲﾝﾊﾞｰﾀ異常猶予一括
430*　ｲﾝﾊﾞｰﾀ異常猶予一括　ｲﾝﾊﾞｰﾀ番号: *
4310　ｲﾝﾊﾞｰﾀ過電流遮断異常猶予一括
431*　ｲﾝﾊﾞｰﾀ過電流遮断異常猶予　ｲﾝﾊﾞｰﾀ番号: *
4320　ｲﾝﾊﾞｰﾀ母線電圧不足異常猶予一括
432*　ｲﾝﾊﾞｰﾀ母線電圧不足異常猶予　ｲﾝﾊﾞｰﾀ番号: *
4330　ｲﾝﾊﾞｰﾀ放熱サーモ異常猶予一括
433*　ｲﾝﾊﾞｰﾀ放熱サーモ異常猶予　ｲﾝﾊﾞｰﾀ番号: *
4340　ｲﾝﾊﾞｰﾀ過電流保護異常猶予一括
434*　ｲﾝﾊﾞｰﾀ過電流保護異常猶予　ｲﾝﾊﾞｰﾀ番号: *
4350　ｲﾝﾊﾞｰﾀIPM異常猶予一括
435*　ｲﾝﾊﾞｰﾀIPM異常猶予 *
4360　ｲﾝﾊﾞｰﾀ冷却ファン異常猶予一括
436*　ｲﾝﾊﾞｰﾀ冷却ファン異常猶予　ｲﾝﾊﾞｰﾀ番号: *
5000　センサ故障一括
50*0　センサ故障 * 系統一括
51**　温度センサ故障　センサ番号: **
52**　圧力センサ故障　センサ番号: **
53**　電流センサ故障　センサ番号: **
54**　湿度センサ故障　センサ番号: **
55**　ガスセンサ故障　センサ番号: **
56**　風速センサ故障　センサ番号: **
57**　ﾘﾐｯﾄｽｲｯﾁ故障　ｽｲｯﾁ番号: **
58**　センサ故障　センサ番号: **
59**　その他センサ故障　センサ番号: **
6000　システム異常一括
6101　システム異常　不能　応答フレーム有り
6102　アンサーバック無し
6500　通信異常一括
6600　通信異常　アドレス二重定義エラー

6601　通信異常　極性未設定エラー
6602　通信異常　伝送ﾌﾟﾛｾｯｻ　ハードウエアエラー
6603　通信異常　伝送路 BUSY エラー
6604　通信異常　ACK（06H）無し（通信回路異常）
6605　通信異常　応答フレーム無し
6606　通信異常　伝送ﾌﾟﾛｾｯｻとの通信異常
6607　通信異常　ＡＣＫ無返送エラー
6608　通信異常　応答フレーム無返送エラー
6609　通信異常
6610　通信異常
6700　通信異常　Ｋ伝送異常一括
6701　通信異常　Ｋ伝送エラー
6702　通信異常　Ｋアドレス二重定義エラー
6750　通信異常　Ｋ異常コード　ＰＯ
6751　Ｋ異常　吸い込みセンサ異常
6752　Ｋ異常　配管センサ異常　凝縮温度検出センサ異常
6753　Ｋ異常　送受信エラー
6754　Ｋ異常　ドレンセンサ異常　フロートスイッチ作動
6755　Ｋ異常　ドレンポンプ異常
6756　Ｋ異常　凍結／過昇保護
6757　Ｋ異常　システムエラー
6758　Ｋ異常　室外機異常　室内外通信エラー
6761　Ｋ異常　吸い込みセンサ異常
6762　Ｋ異常　配管センサ異常　凝縮温度検出センサ異常
6763　Ｋ異常　送受信エラー
6764　Ｋ異常　ドレンセンサ異常
6765　Ｋ異常　ドレンポンプ異常
6766　Ｋ異常　凍結／過昇保護
6767　Ｋ異常　室外機異常　室内外通信エラー
6771　Ｋ異常　高圧圧力異常　低圧圧力異常
6772　Ｋ異常　インナーサーモ作動　吐出温度異常　シェルサーモ作動　過電流保護
6773　Ｋ異常　放熱板サーモ作動
6774　Ｋ異常　室外サーミス異常
6775　Ｋ異常　圧力センサ異常　室内外通信異常
6776　Ｋ異常　過電流遮断
6777　Ｋ異常　システムエラー
6778　Ｋ異常　正常
6779　Ｋ異常　冷媒過充填　電圧異常　ＣＴセンサ異常
6800　通信異常　その他の通信異常一括
6801　通信異常　Ｖ制御通信異常
6810　通信異常　ＵＲ通信異常一括
6811　通信異常　UR通信同期回復不能エラー
6812　通信異常　UR通信ハードウエアエラー
6813　通信異常　UR通信ｽﾃｰﾀｽﾋﾞｯﾄ検出エラー
6820　その他の通信異常
6821　その他の通信異常　伝送路 BUSY
6822　その他の通信異常　通信 ACK 無し
6823　その他の通信異常　応答コマンド無し
6824　その他の通信異常　受信データ誤り
6830　通信異常　MA 通信冷媒アドレス二重設定異常
6831　通信異常　MA 通信受信なし異常
6832　通信異常　MA 通信同期回復異常
6833　通信異常　MA 通信送受信 H／W異常
6834　通信異常　MA 通信スタートビット検出異常
7000　システム異常一括
7100　システム異常　合計能力エラー
7101　システム異常　能力コードエラー
7102　システム異常　接続ユニット台数オーバー
7103　システム異常　配管長設定エラー
7104　システム異常　階高設定エラー

7105　　システム異常　アドレス設定エラー
7106　　システム異常　属性設定エラー
7107　　システム異常　分岐口設定エラー
7108　　システム異常　冷媒系設定エラー
7109　　システム異常　接続設定エラー
7110　　システム異常　冷媒系統接続／接続情報未設定エラー
7111　　システム異常　Ｉ／Ｏ接続機器未接続／リモコンセンサー異常
7112　　システム異常　Ｉ／Ｏ種別設定異常
7113　　システム異常　機器未設定
7130　　システム異常　組合せ異常
7200　　システム異常　数値未設定一括
7201　　システム異常　数値未設定

> お知らせ
> ・異常コードは全てのコードを記載しています。一部に本機のシステムでは表示されない異常コードも記載されています。

（２）システムの異常コード

下記に異常コードと意味を記載します。

Ｇ－５０異常
0003　　“故障”

> お知らせ
> ・マンマシン（統合ソフト TG-2000)、Ｇ－５０の異常コードも数字４桁以内で表示しますが空調機の異常コードとは意味づけが異なっています。

１３　システム運用上の注意

システム運用上についての注意を示しています。内容を必ずお読みの上、ご使用ください。

１３．１　使用許諾について

本プログラムに際し、下記の使用許諾内容に同意した上でご使用ください。

三菱電機または、その販売会社はいかなる場合にもお客様に、付随的、派生的または特別の損害に対する責任を、たとえ販売者がその種の損害が発生する可能性について通知を受けていたとしても負いません。第三者からのいかなる権利の主張に対する責任も負いません。

１３．２　各操作・設定の注意について

（１）システム構成、監視表示設定と課金システム設定の変更

・課金（電力按分課金）機能を使用している場合は、システム構成、監視表示設定および課金システムの設定を変更する前に、精算を必ず実施してください。
・システム構成の設定、または、監視表示設定を変更した場合、課金システムの設定も変更または確認を実施してください。

（２）時刻設定

・課金（電力按分課金）機能を使用している場合、空調料金の電力按分課金計算に影響しますので必要以外は時刻設定の変更は行わないでください。
・課金（電力按分課金）機能を使用している場合は、本マンマシンから時刻変更してください。Web ブラウザ操作では時刻変更しないでください。
・本統合ソフト TG2000 動作中は、Windows の「日付と時刻のプロパティ」を絶対に使用しないでください。
・時刻修正の確認は定期的に実施することをお勧めします。特に、課金機能を使用している場合は１ヶ月に１度程度の実施をお勧めします。時刻はＰＣ本体とＧ50 本体の時計精度に依存します。

１３．３　空調料金の注意について

（１）空調課金機能を使用するに当たり

・本プログラムの課金（電力按分課金）機能を使用する際には、ビルオーナー様側とテナント様側との個別契約で「空調料金を運転状態で勘案した按分計算により徴収する（故障時の臨時対応も含む）」旨を合意、または、協定することをお勧めします。
・停電や瞬停の発生時に、本統合ソフト TG2000 の停止やデータ破壊等を防ぐため、UPS の設置をお勧めします。
・空調料金の結果を本パソコン以外に残しておくことをお勧めします。
（例えば、空調料金の結果を印刷して、紙面で保管します）
・データベースのバックアップ機能を使用することをお勧めします。詳細は、「現地調整編」の８．３．３章を参照ください。
・本統合ソフト TG2000 のシステムに登録された集中コントローラＧ50 全てに、電力按分課金のライセンス登録が必要です。一部の集中コントローラＧ50 のみに電力按分課金のライセンス登録をしていても空調課金機能が正常に動作しません。

（２）空調料金の計算（電力按分課金計算）

・空調機の運転状態から判断して、按分パラメータを計算する弊社独自の方法である。このため、各空調機の電力供給場所に電力量計を設置して算出するようなものとは異なります。
・システムの異常が発生した場合、按分計算を翌日に先送りしたり、按分計算をしない等の処理を行います。按分データの修正を実施される場合は、「課金のデータ保守」機能を使用してください。
・空調料金は課金ブロック単位で計算されますので、課金ブロックに登録されていない室内機は空調料金に反映されません。
・空調料金の精算結果には、表示桁未満の計算誤差があります。
・料金比率の表示は、未表示桁を四捨五入してあります。また、料金比率の合計値は各課金ブロックの料金比率（四捨五入済み）を合計しており、ケースによっては１００%以外の数字になります。
（料金比率合計が１００%以外の場合、課金ブロックごとに空調料金を求める割合を
該当課金ブロックの料金比率／料金比率合計
を使用することをお勧めします。）

（３）システムの変更をするに当たり

・システム構成と監視表示設定および課金システムの設定を変更する場合には、精算日翌日から前日までの期間で精算を実施してください。また、当月の精算は、変更前と変更後の精算した空調料金を合計して使用してください。

（４）「課金のデータ保守」機能について

・空調料金の電力按分課金に異常等が発生したときに、「課金のデータ保守」で救済することができます。方法については、取扱説明書（現地調整編）をご参照ください。

・本課金機能で異常が発生した場合は、「課金のデータ保守」で対応することをビルオーナー様側とテナント様側とで合意または協定することをお勧めします。

１３．４　その他

（１）Windows XP/2000 について（リブート処理）

・定期的に（週一回程度）本プログラムと Windows XP/2000 を終了させ、再度起動する作業を実施することをお勧めします。Windows XP/2000 には一般的に長時間の連続運転に不具合が潜在している可能性があります。本 TG2000 の動作に影響を少なくするため、リブートを実施してください。

・本プログラムの自動リブート機能を設定することができますが、自動リブートで TG2000 を再起動できないケースもあり得ます。このため、手動にて本プログラムと Windows XP/2000 を終了させてから再度起動することをお勧めします。

（２）Windows のタスクバーについて

・統合ソフト TG2000 動作中は、Windows のタスクバーを使用しないでください。

（３）プリンタ出力

・プリンタを接続して使用する場合は、常に電源を入れて、印刷できるように用紙を補充しておいてください。印刷できない場合は、Windows 上から印刷できない旨のメッセージが表示される場合があります。

（４）動作処理について

・複数の処理や制御が重なった場合、動作に遅延を生じる可能性があります。

・空調機の運転監視モニタは定期的に実施しております。本マンマシンの表示まで、時間差があります。

（５）機能について

・機能や仕様は、改良のため、お断りなしに、一部仕様を変更する場合があります。

１４　メンテナンスとサービス

メンテナンスおよびサービスに関するご相談は、お買上げの販売店・施工者、設備業者、あるいは、三菱電機冷熱相談センター・販売会社に問い合わせください。

お知らせ
・営業窓口、ご相談窓口、修理窓口に関しては、集中コントローラ G50 あるいは空調ユニットに同梱しております「三菱電機　修理窓口・ご相談窓口のご案内」をご覧ください。

添付１　電力按分課金計算ツールの使用方法

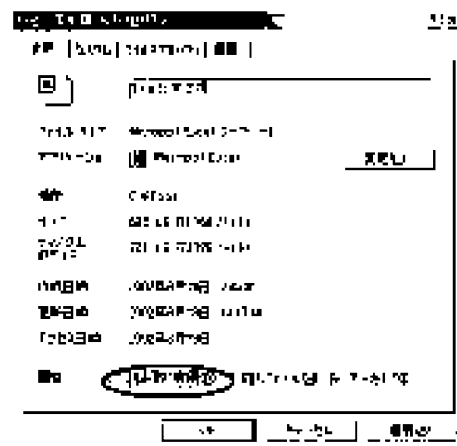
本添付資料では、空調料金の料金比率結果出力ファイルと電力メータ検針値を用いて、課金ブロック毎の空調料金計算を支援するための電力按分課金計算ツール（Excel ファイル）の使用方法について説明します。
本ツールでは、課金ブロック毎の空調料金の計算や請求書フォームへのデータ展開と、請求書フォームの変更が行えます。

１．準備

電力按分課金計算に必要なものを示します。

・ＥＸＣＥＬ２０００／ＸＰ
・空調料金の料金比率結果の出力ファイル
・提供している「料金比率支援.xls」のファイル
・必要データ（２章の５）参照）

使用するパソコンに上記のアプリケーション・ソフトウェアがインストールされており、上記のファイルにアクセス可能な状態に準備してください。

お知らせ
・「料金比率支援.xls」のファイルは統合ソフトＣＤからコピーして使用しますが、「読み取り専用」になっていますので、プロパティを開いて、属性にある「読み取り専用」のチェックをクリックして外してから使用ください。
・「料金比率支援.xls」のファイルはマクロを使用していますので、マクロを使用できない旨のメッセージが表示された場合、マクロ・セキュリティのレベルをマクロが使用できるように変更してください。

２．電力按分課金計算の方法

統合ソフトの空調料金計算機能により課金ブロック毎に出力された料金比率の出力結果（ファイル）を用いて、電力量計で計量した電力量から空調料金の金額を計算する方法を説明する。

１）「料金比率支援.xls」ファイルを起動します

エクスプローラにて、「料金比率支援.xls」ファイルをダブルクリックして、EXCEL2000/XPで開きます。すると、電力按分課金（電力量手入力）画面が表示されます。

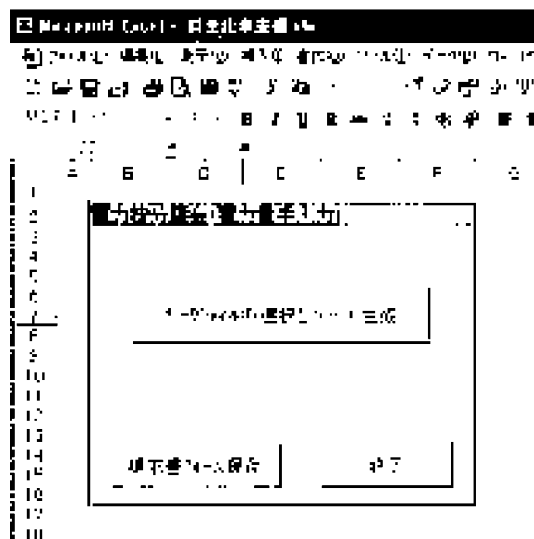
２）［データファイルの選択とツール生成］ボタンを選択します

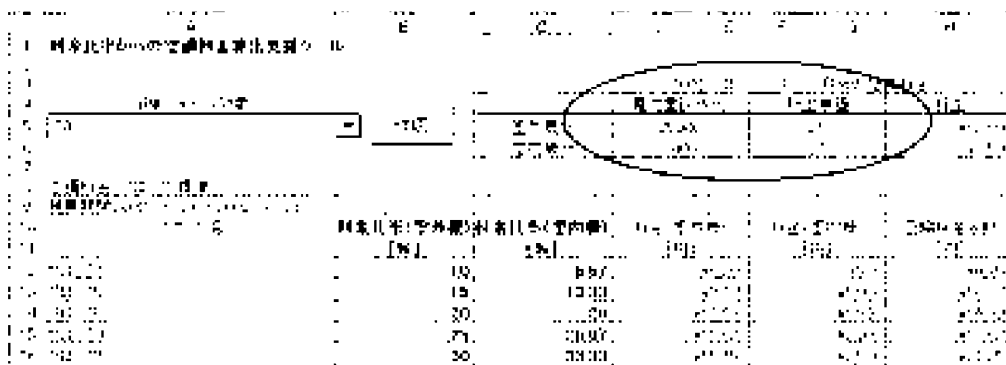
電力按分課金（電力量手入力）画面にある［データファイルの選択とツール生成］ボタンをクリックする。すると、「ファイルを開く」画面が表示されます。

３）データファイルを選択します

ファイル読込をするデータファイルを選択します。

４）［開く］ボタンを選択します

データファイル読込をするために、［開く］ボタンを選択します。すると、自動的に別ファイル名で「料金比率からの空調料金算出支援ツール」のExcel 画面が表示されます。

料金比率支援.xlsの画面

※料金比率支援.xls は閉じて、新しい Book の Excel ファイルを作成して表示します。

空調料金算出支援ツール使用時の画面例

5）必要事項のデータを入力します

次のような必要データを入力します。

- ・請求月
- ・室外機電力量（請求期間分）　←※電力メータの検針を行う必要があります。
- ・室内機電力量（請求期間分）　←※電力メータの検針を行う必要があります。
- ・電気料金単価（円／ｋＷｈ）

入力すると、自動的に課金ブロック毎の空調料金合計結果（使用電気料金）が表示されます。

３．印刷フォームへの展開方法

前章（２章）で計算した課金ブロック毎の空調料金（使用電気料金）を任意のフォームへ展開する方法を説明します。

1）課金ブロックを選択します

任意のフォームに展開したい課金ブロックを「印刷フォーム対象」から選択します。

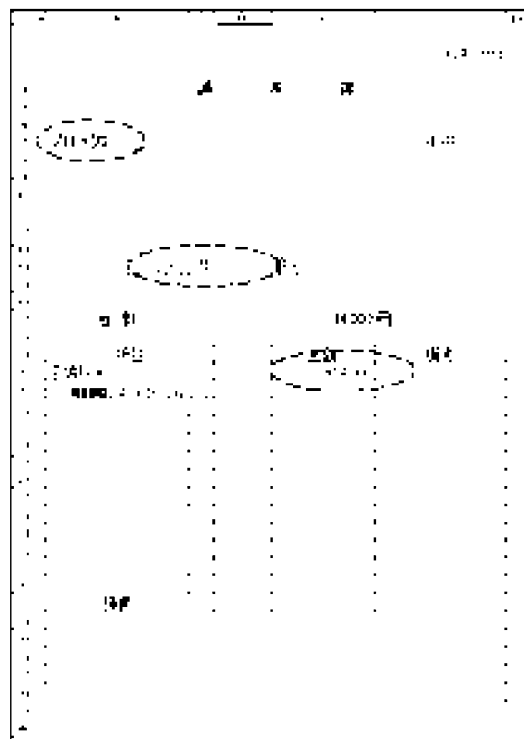
2）［作成］ボタンを選択します

［作成］ボタンをクリックすると、新しい Book の Excel ファイルで任意フォームに、

- ・請求年月
- ・課金ブロック名（テナント名）
- ・精算期間
- ・空調料金合計（使用電気料金）

が反映されます。

3）適宜に追加内容やデータを入力します

新しい Book の「請求書フォーム」に対して、ご自由に内容やデータを追加入力することにより、Excel の機能を使用して印刷ができます。

お知らせ

- ・課金ブロック毎に出力した請求書フォームシートに、水道やガス代および空調機以外の費目を手入力で追加して印刷することができます。

４．請求書フォームの変更

課金ブロック毎に出力する「請求書フォーム」を変更する方法を説明します。

１）「料金比率支援.xls」ファイルを起動します

エクスプローラにて、「料金比率支援.xls」ファイルをダブルクリックして、Excel で開きます。すると、電力按分課金（電力量手入力）画面が表示されます。

２）「請求書フォーム」シートを選択します

「料金比率支援.xls」のシート「請求書フォーム」を選択します。

３）請求書フォームを変更します

使用するのに適した請求書フォームに変更します。変更後に、「課金ブロック名」「請求月」「空調料金合計」の出力セル位置を確認し、手順４）に進みます）。

４）メニューの［挿入］－[名前]－[定義]を選択します

Excel メニューの［挿入］－[名前]－[定義]を選択すると、「名前の定義」画面が表示され、この画面で出力セルの位置を変更できます。

５）変更したい項目を選択します

変更する出力セルの項目を

- 「Block（課金ブロック名）」
- 「Charge（空調料金合計）」
- 「Year（請求年）」
- 「Month（請求月）」
- 「Term（請求期間）」
- 「Date（請求書発行日付）」

から選択してクリックします。

６）参照範囲欄を選択後に、出力セルを選択します

「名前の定義」画面の「参照範囲」欄をクリックしてから、出力したいセルをクリックします。すると、出力するセルが点線で示され、参照範囲欄に表示されます。

７）［ＯＫ］ボタンを選択します

「名前の定義」画面の［ＯＫ］ボタンをクリックすると、出力セルの位置が変更されます。

８）残りの項目を手順４）～７）を繰り返します

出力できる項目の残りを手順４）～７）の方法でにて、出力セルの位置を変更します。

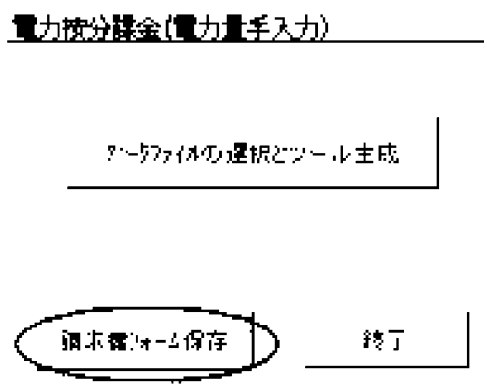
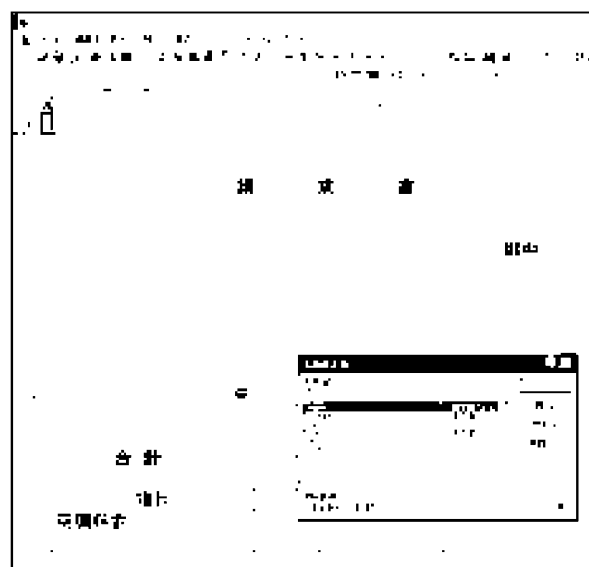
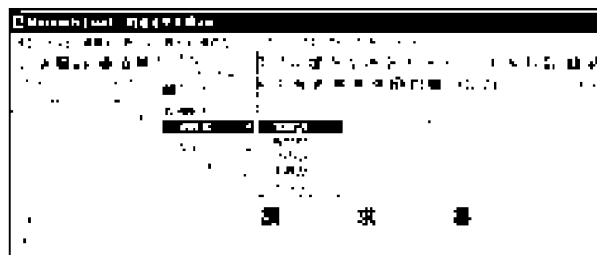
９）「ＨＯＭＥ」シートを選択します

出力セルの変更を終了すると、「ＨＯＭＥ」シートをクリックすると、シートの表示が切り換わります。

１０）［請求書フォーム保存］ボタンを選択します

「ＨＯＭＥ」シートにある［請求書フォーム保存］ボタンをクリックすると、変更した請求書フォームが保存されます。

１１）［終了］ボタンを選択します

「ＨＯＭＥ」シートにある［終了］ボタンをクリックし、「料金比率支援.xls」ファイルを閉じます。

> お知らせ
> ・「請求書フォーム」を変更した際は、必ず［請求書フォーム保存］ボタンをクリックして、データの保存作業を行ってください。フォーム変更後に、［データファイルの選択とツール生成］ボタンをクリックすると、変更した請求書フォームを保存せずに終了してしまいます。